

一般道道

ふらのかみかわ
富良野上川線

再評価原案準備書説明資料

平成16年度

北海道開発局

目 次

1. 事業の概要	1
(1) 目的	1
(2) 計画の概要	3
(3) 経緯	4
2. 事業の必要性等	5
・事業の効果や必要性を評価するための指標	5
(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	6
(2) 事業の投資効果	16
(3) 事業の進捗状況	18
3. 事業の進捗の見込み	19
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性	20
5. 関係する地方公共団体等の意見	26

1. 事業の概要

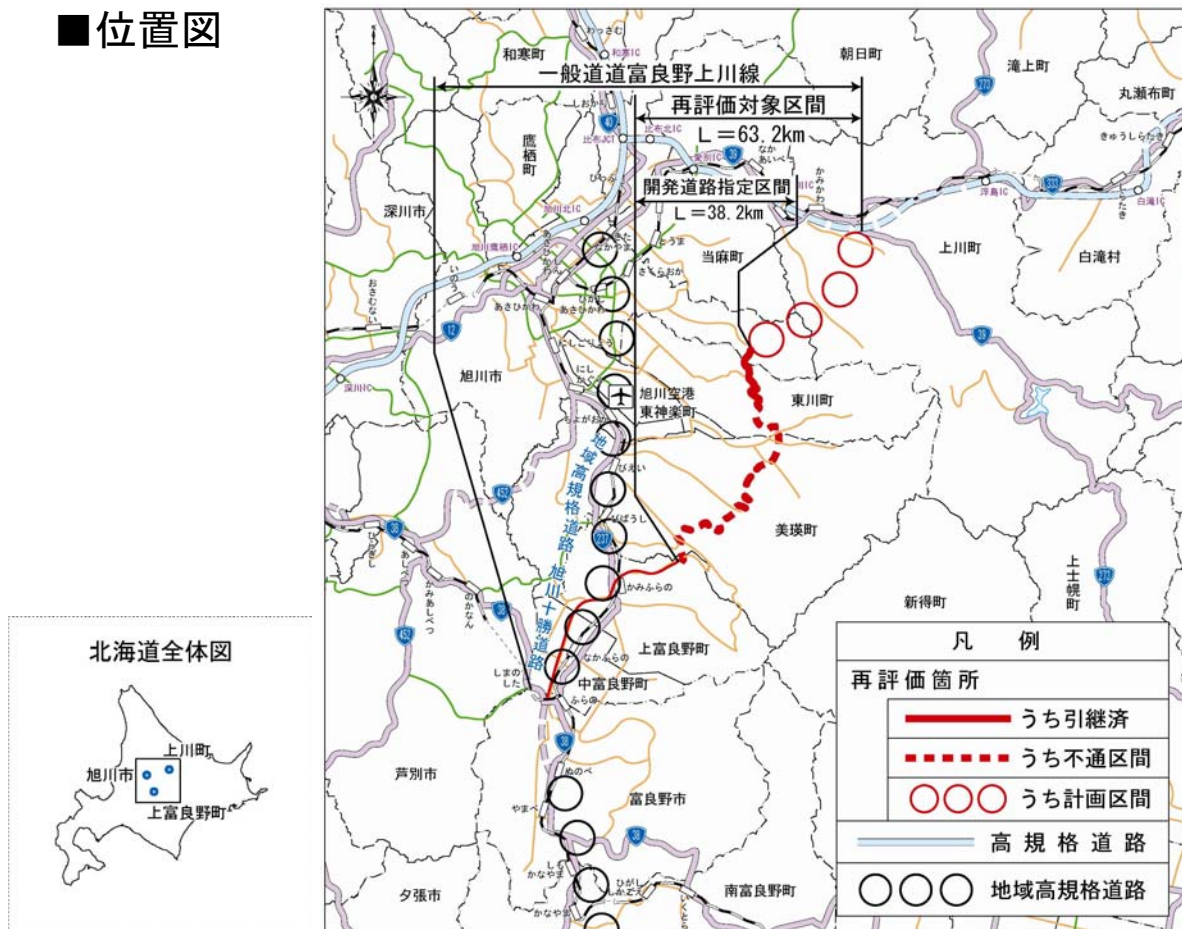
(1) 目的

- ・ 物流効率化の支援
- ・ 国土・地域ネットワークの構築
- ・ 個性ある地域の形成

富良野上川線は富良野市と上川町を結ぶ延長約87kmの一般道道です。このうち旭川市東旭川町瑞穂から上富良野町字上富良野までの延長約38kmが開発道路に指定されています。

本路線の整備は、交通不能区間を解消し、沿線地域間の連携・活性化に寄与するとともに、路線沿線に位置する観光拠点や地域プロジェクトを有機的に連絡することにより、新たな広域観光周遊ルートの形成に貢献します。

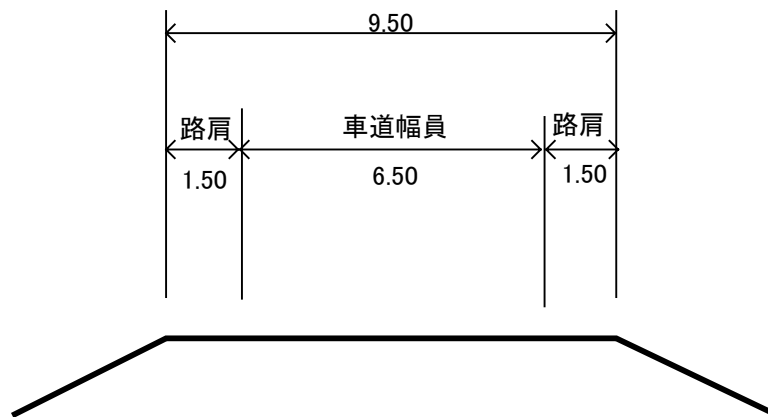
■位置図



(2) 計画の概要

- ① 起 点 : ほっかいどうかみかわぐんかみかわちょうあざしらかわ 北海道上川郡上川町字白川
終 点 : ほっかいどうそらちぐんかみふらのちょう かみふらの 北海道空知郡上富良野町字上富良野
- ② 計画延長 : 63.2 km
(開発道路指定区間 38.2 km)
- ③ 幅 員 : 9.5 m
- ④ 構造規格 : 3種3級
- ⑤ 設計速度 : 50 km/h
- ⑥ 車 線 : 2車線
- ⑦ 事業主体 : 北海道開発局

■標準横断



単位:m

(3) 経緯

昭和58年度	開発道路指定（一般道道白川美唄線）
昭和61年度	事業化、用地補償着手、工事着手
平成6年度	指定変更（一般道道富良野上川線）
平成元～15年度	完成区間L=9.7km北海道へ引継

2. 事業の必要性等

・事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標	
I 活 カ	(1) 円滑なモビリティの確保	1 ● 現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率
		2 □ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		3 □ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される
		4 □ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する
		5 □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる
		6 □ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる
	(2) 物流の効率化の支援	1 □ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
		2 ■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
		3 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する
	(3) 都市の再生	1 □ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
		2 □ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する
		3 □ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
		4 □ 中心市街地内で行う事業である
		5 □ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である
		6 □ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する
		7 □ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上または16ha以上、大都市においては100戸以上または5ha以上）への連絡道路となる
	(4) 国土地域のネットワークの構築	1 □ 地域高規格道路の位置づけあり
		2 □ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
		3 ■ 現道等における交通不能区間を解消する
		4 □ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する
	5 □ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
(5) 個性ある地域の形成	1 □ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
	2 ■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
	3 ■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
	4 □ 特別立法に基づく事業である	
	5 □ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
II く ら し	(1) 歩行者・自転車のための生活空間の形成	1 □ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の
		2 □ 交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される
	(2) 無電柱化による美しい町並みの形成	1 □ 対象区間が電線類地中化5カ年計画に位置づけあり
		2 □ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する
	(3) 安全で安心できる暮らしの確保	1 □ 二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
	(4) 安全な生活環境の確保	1 □ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる
		2 □ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される
	(1) 災害への備え	1 □ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する
		2 □ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5カ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけられている
		3 □ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
	4 □ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
	5 □ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
	6 □ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
	7 □ 幅員6m以上の道路がないため消火活動ができない地区が解消する	
IV 環 境	(1) 地球環境の保全	1 ● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	(2) 生活環境の改善保全	2 ● 現道等における自動車からのNO2排出削減率
		3 ● 現道等における自動車からのSPM排出削減率
		4 □ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
		5 □ その他、環境や景観上の効果が期待される
V そ の 他	(1) 他プロジェクトとの関係	1 □ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている
		2 □ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり
		3 □ 他機関との連携プログラムに位置づけられている
(2) その他	1 ■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

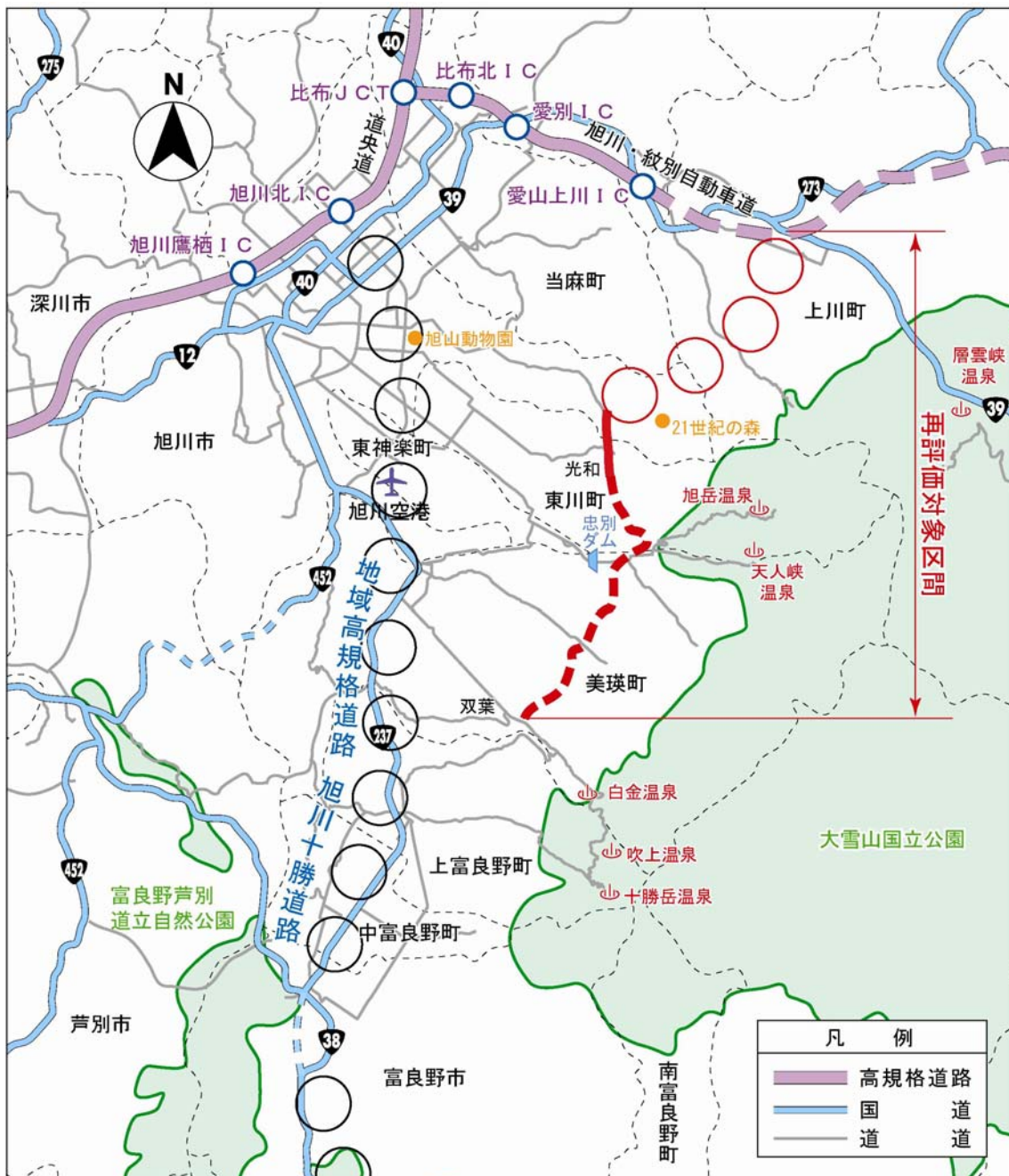
※●は定量的に評価する指標

(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

客観的評価指標①

「現道等における交通不能区間を解消する」

一般道道富良野上川線は、上富良野町から上川町を結ぶ区間が交通不能区間になっています。当該路線の整備により、交通不能区間が解消され、旭川市から大雪山系へ通じる道道を有機的に結び、新たな連絡道路が形成されます。



客観的評価指標②

「主要な観光地へのアクセス向上が期待される」

上川中部・富良野地域は、大雪、十勝連峰など北海道を代表する雄大な景観を背景に、花と丘陵の美しい農村景観や豊富な温泉資源、各種保養施設を有し、四季を通じて人々が訪れる観光リゾートを形成しています。

なかでも、旭山動物園（旭川市）は平成16年の年間入場者数が約134万人と過去最高を記録し、7、8月には月間入場者数が上野動物園（東京都）を上回って全国1位となりました。

さらに、広範囲に点在する多数の観光拠点の連携を図り、広域周遊観光の振興を図る取り組みも進められています。

当該路線の整備により、沿線に位置する旭川21世紀の森、旭岳・天人峡温泉、白金温泉などの各観光拠点を有機的に結びつけることで、広域観光の振興を支援します。

図 富良野上川沿線の観光入り込み数（平成14年）と道路網



21世紀の森



21世紀の森の湯



旭山動物園



大雪旭岳源水



パノラマロード



パッチワークの丘



資料：観光客入込数調査報告書（北海道）



アイスパビリオン



層雲峡



旭岳



天人峡



白金地区白ひげの滝



十勝岳温泉

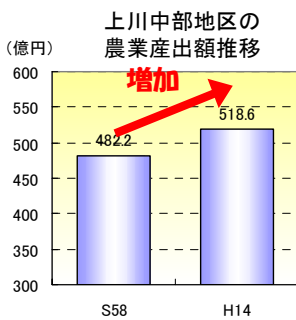
客観的評価指標③

「農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性の向上が見込まれる」

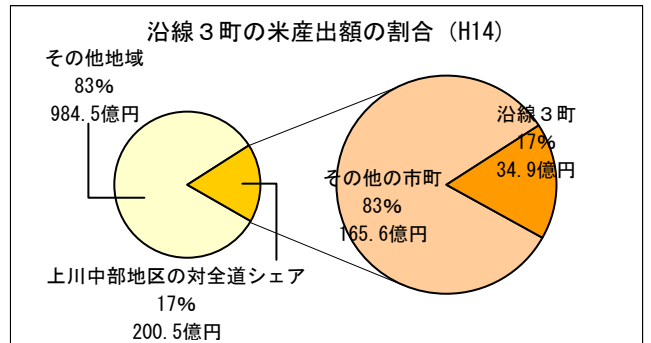
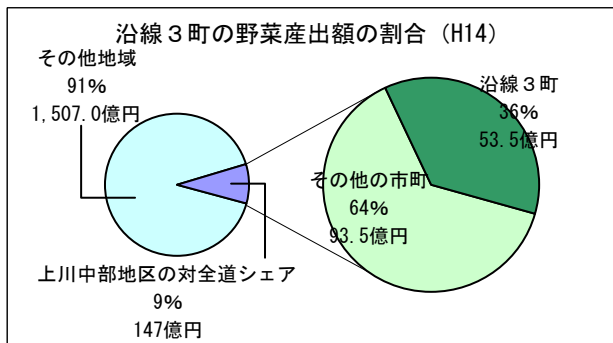
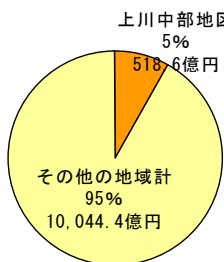
＜農産品流通における利便性の向上＞

富良野上川線を取り囲む上川中部地区は、米、野菜などの作物が生産されており、農業産出額は年間約520億円／年となっています。中でも沿線の上川町、東川町、美瑛町の3町の野菜産出額は約54億円、米の産出額は約35億円を占めています。

当該路線の整備により、地域の農産物流通の利便性向上が期待されます。



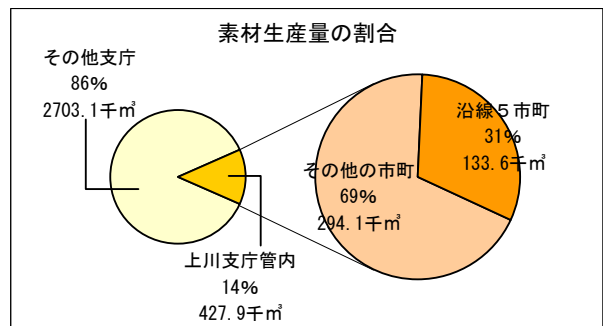
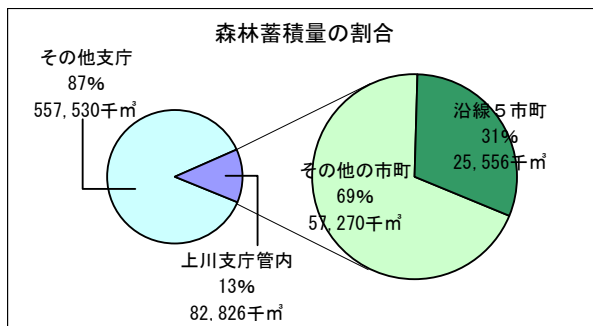
上川中部地区の農業産出額対全道シェア(平成14年)



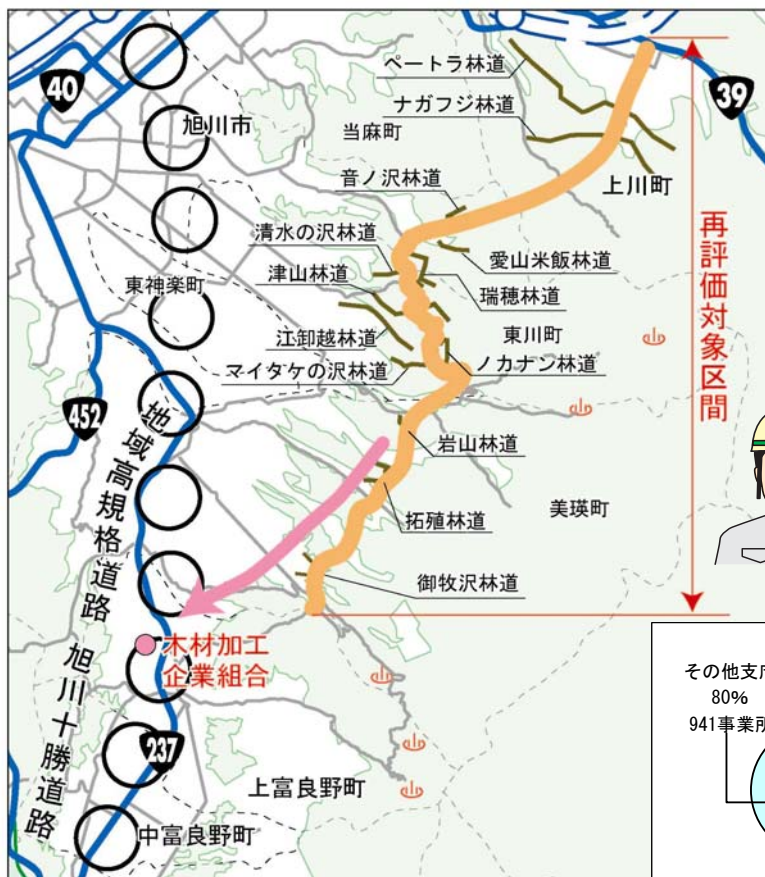
※沿線3町：上川町、東川町、美瑛町
資料：北海道農林水産統計年報

＜林産品の流通における利便性の向上＞

また、本路線が位置する上川支庁の5市町（旭川市・上川町・東川町・美瑛町・上富良野町）は、上川管内森林蓄積量約83,000千 m^3 の内、約31%を占める森林地域です。また、家具や製紙など木材関連産業の集積を背景として、年間の素材生産量が約134千 m^3 ／年に及んでいます。当該路線の整備により、沿線の豊かな森林資源の開発や木材の搬出の利便性向上に寄与します。



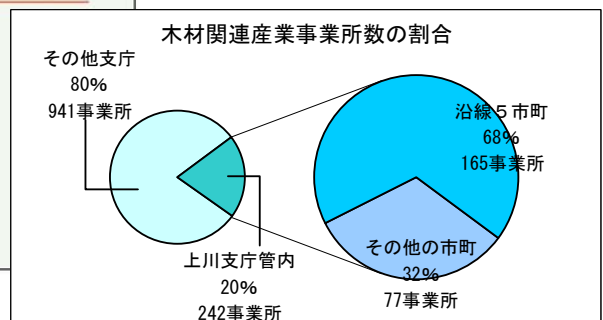
資料：平成14年度上川の林産



大雪山周辺の原木は立派な建築資材になり、梱包材、パレット、チップなどにも加工しています。

運搬は林道を活用していますが、春先、秋口は道路状態が悪く搬出が大変です。

上富良野町
木材加工企業組合関係者談



※木材関連産業：木材・木製品製造業(家具を除く)、家具・装備品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業

資料：H14工業統計調査

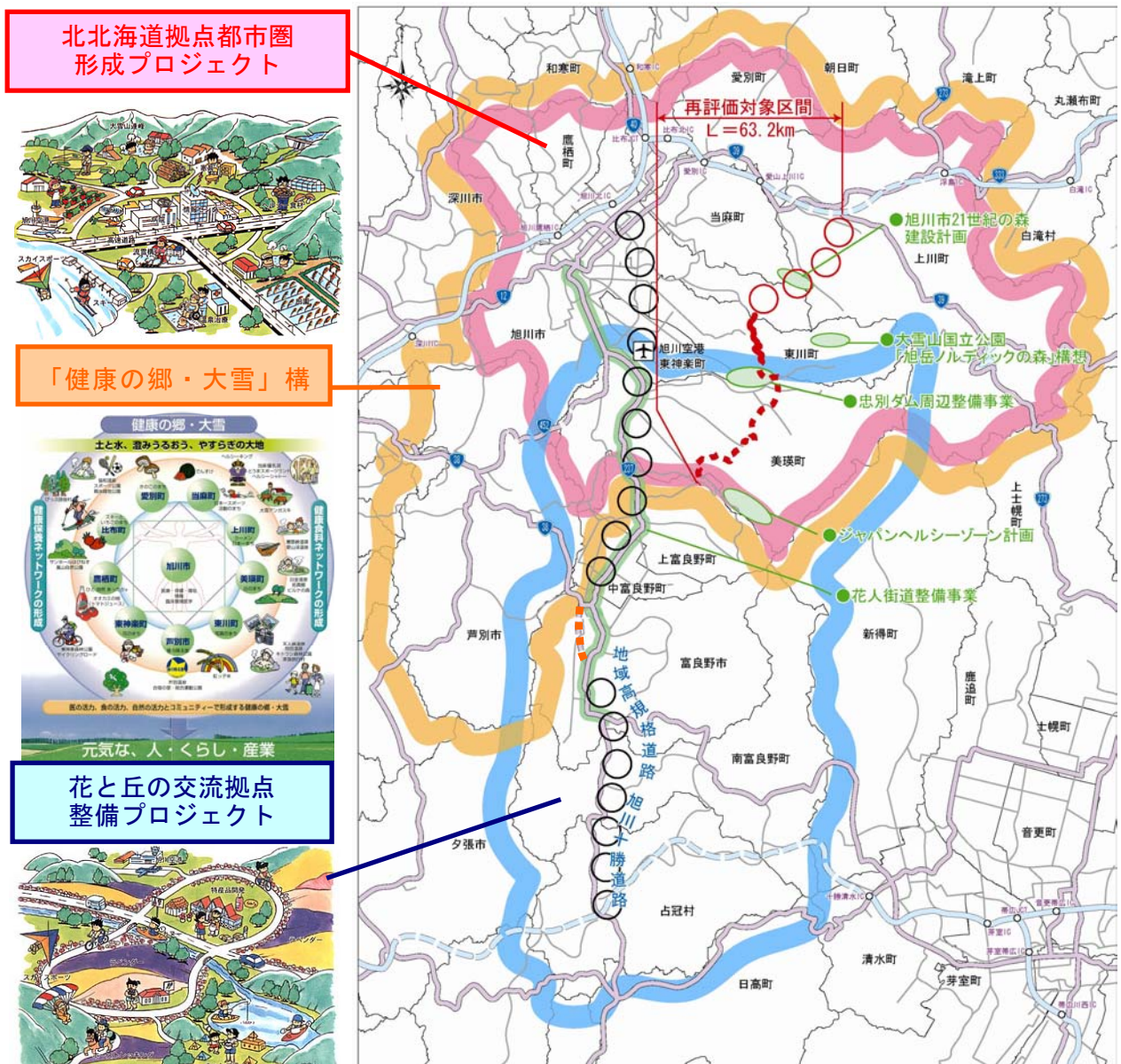
客観的評価指標④

「拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する」

富良野上川線の沿線では、各市町が持つ固有資源を活かした各種地域プロジェクトが展開され、各行政機関が連携して魅力ある観光地域づくりを展開しています。

当該路線の整備により、これら各市町で進めている地域プロジェクトへのアクセスが向上し、地域間相互の観光交流や滞在型観光の創出、背後圏からの観光流入による地域の活性化を支援します。

プロジェクト・事業概要図



資料：旭川開発建設部資料

地域プロジェクト概要

名称	区分		プロジェクトの内容・施設等
旭川市21世紀の森建設事業	事業中	事業主体 北海道・旭川市	旭川市21世紀の森は「道立旭川21世紀の森」に本市独自の計画を加え、8つのゾーンを設定し整備を進める。 ファミリーゾーン・冒険の森ゾーン・スポーツの森ゾーン・レストゾーン・散策の森ゾーン・生産の森ゾーン・自然観察ゾーン・自然の教育学習の森ゾーン（道立旭川21世紀の森）
	事業予定 期間 S59～H17	面積 655.7ha	
「健康の郷・大雪」 (医療休養基地)構 想	事業中	事業主体 旭川市・芦別市・鷹 栖町・東神楽町・当 麻町・比布町・愛別 町・上川町・東川町・ 美瑛町	旭川圏域の恵まれた自然環境や医療・福祉機能等の集積を活用し、圏域外からの集客や圏域住民の健康づくりを目的とした健康保養地形成を進め、環境に起因する疾病の研究を行う「臨床環境医学」の取組と関連産業の振興による産業クラスター形成を図るとともに、住民の包括的な健康づくり体制を推進するなど、新しい観点から個性と活力ある地域づくりを目指す。
	事業予定 期間 H10～		
大雪・十勝広域観 光開発推進事業	事業中	事業主体 大雪圏・十勝圏 (25市町村区域)	大雪・十勝の25市町村において、広域観光の将来あるべき姿を策定し、計画を基本に各地域が独自の振興を図るとともに、相互連携し観光事業を推進する
	事業予定 期間 H元～		
忠別ダム周辺 整備事業	事業予定	事業主体 東川町	平成13年度に開催された「忠別ダム周辺整備検討委員会」での検討結果をもとに、自然と調和し、訪れる人々が水辺と大自然に親しむことができる周辺整備計画を策定し、整備を行って行く
	面積 52.8ha		
大雪山国立公園 「旭岳ノルディッ クの森」構想	事業中	事業主体 東川町	ノルディックスキー選手及び一般の人たちが、通年利用できるクロスカントリーコース、トレーニングセンター、クラブハウスを整備する
	事業予定 期間 H10～		
ジャパンヘルシー ゾーン計画	事業中	事業主体 美瑛町	総合保養地域整備法の指定を受けた大雪山国立公園の雄大な自然景観を背景に、原始性豊かな自然の中でスポーツレクリエーション、コミュニティ活動などを通じ、国民生活にやすらぎと潤いを与え、創造性豊かな人間形成と人間性の回復を図る
	事業予定 期間 S63～ H17	面積 5,340 ha	
花人街道整備事業	事業中	事業主体 旭川市・東神楽町・ 美瑛町・上富良野 町・中富良野町・富 良野市・南富良野 町・占冠村	国道237号に連なる旭川市・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・富良野市・南富良野町・占冠村が一緒に美しい景観づくりをすすめる中で生まれた、この地域の愛称で、地域の生活と産業に調和し、地域のみなさんと訪れる観光者のために、親切で分かりやすく、気持ちよく利用できるみちづくりを進めるプロジェクト
	事業予定 期間 H13～		

広域的複合的プロジェクト概要

名称	対象地域	概要
北北海道拠点都市 圏形成プロジェク ト	旭川市・鷹栖町・東神 楽町・当麻町・比布 町・愛別町・上川町・ 東川町・美瑛町	地域特性や地域課題を踏まえ、高次都市機能を有する旭川市と優れた自然資源を有する周辺市町において、当該路線の整備により、これら周辺市町村間のネットワークの強化を図り、相互の交流・連携・補完を促進することにより、都市と田園が有機的に結合した北北海道の拠点都市圏の形成に貢献する。
花と丘の交流拠点整備 プロジェクト	東神楽町・美瑛町・上 富良野町・中富良野 町・富良野市・南富良 野町・占冠村	十勝岳連峰を背景とした花と丘陵の美しい農村景観や湖、高原、温泉、国際的なスキー場など優れた観光資源を活かし、農村体験、乗馬体験、アウトドアスポーツといった体験型観光や一年を通じて楽しめる通年型・滞在型観光地の実現に向けて、当該路線の整備によりこれらのプロジェクトを支援し、国内有数の観光地づくりに寄与する。

資料：旭川開発建設部資料

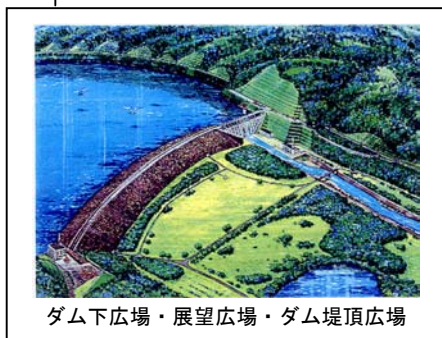
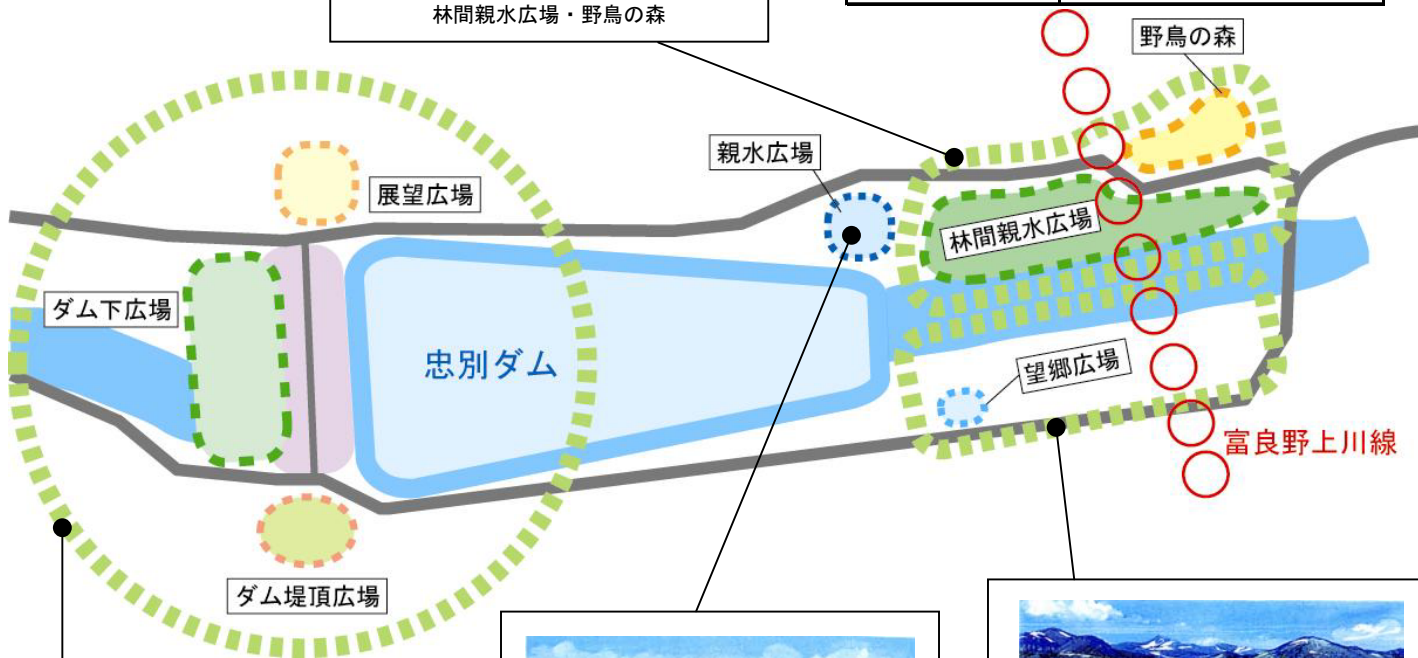
また、忠別川上流域では、洪水調節、かんがい用水の補給などを目的とした多目的ダムである忠別ダムを建設中です。

忠別ダム周辺では、展望広場や親水広場等を整備し、観光客と地域住民が共に交流できるダム湖空間の創出を目的とした忠別ダム周辺整備計画を、河川管理者と関係町が調整を図りながら進めています。

当該路線の整備により、忠別ダム周辺整備計画を交通面から支援します。

■忠別ダム周辺整備計画イメージ

ゾーン名	主要な施設
ダム下広場	管理用通路
展望広場	ダム管理棟、駐車帯
ダム堤頂広場	展望施設、トイレ
親水広場	人工ビーチ、駐車帯
林間親水広場	駐車帯、修景広場
野鳥の森	園路
望郷広場	望郷記念碑



資料：旭川開発建設部資料

客観的評価指標⑤

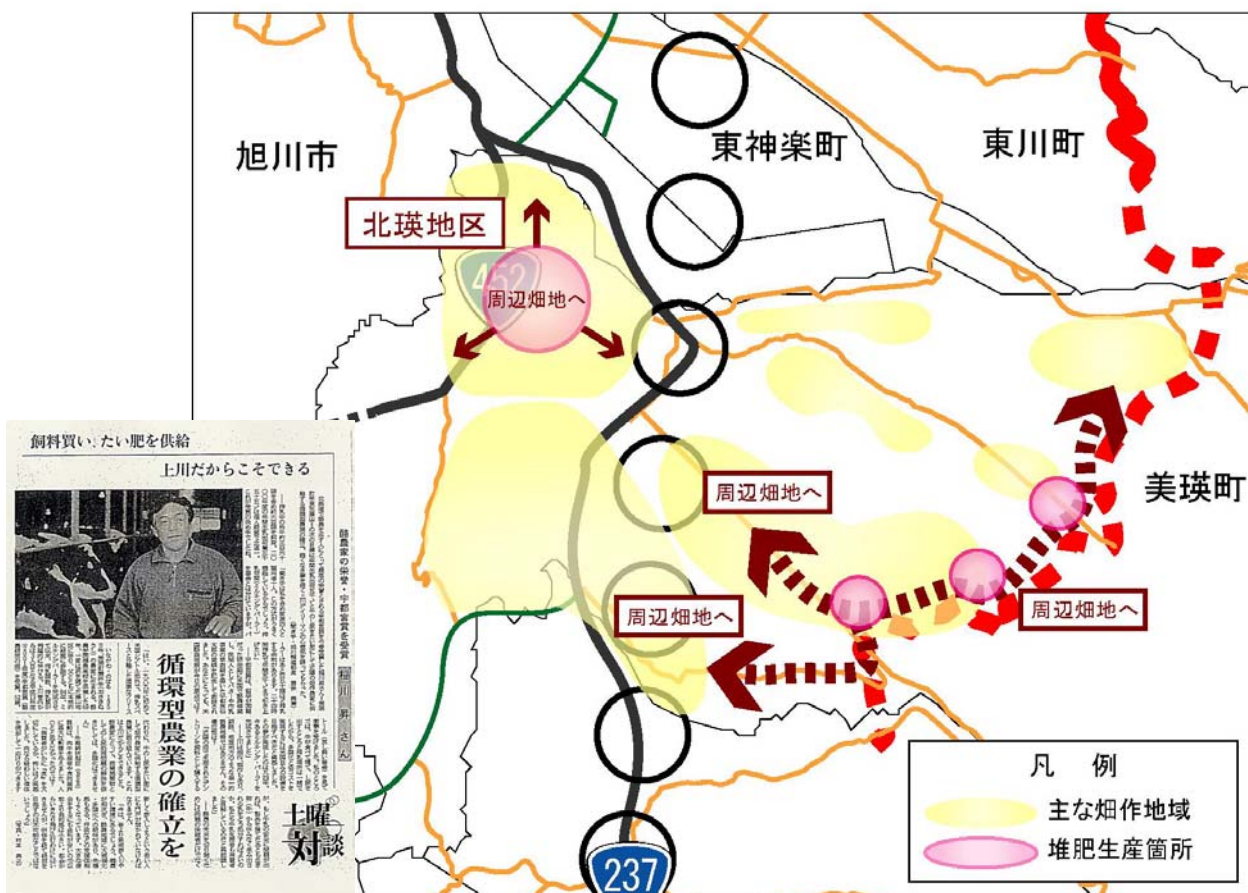
「その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果」

＜堆肥を利用した土づくりによる土地改良への貢献＞

当該路線周辺的美瑛町北瑛地区では、昭和59年から近隣農家により「パーク堆肥生産組合」を設立し、付近の農地490haで年平均約5,000m³以上の堆肥散布による土地改良を進めてきました。

その結果、土壌の物理性が改善され農業生産力の向上、安定した良品生産、作業効率の向上、労働コスト削減等に寄与しています。また、これを例に、町内の他の地区においても堆肥散布による土地改良に積極的に取り組んでおり、当該路線の整備により、堆肥運搬の利便性が向上し、農業振興に寄与します。

■美瑛町の堆肥の生産と利用



資料：美瑛町資料

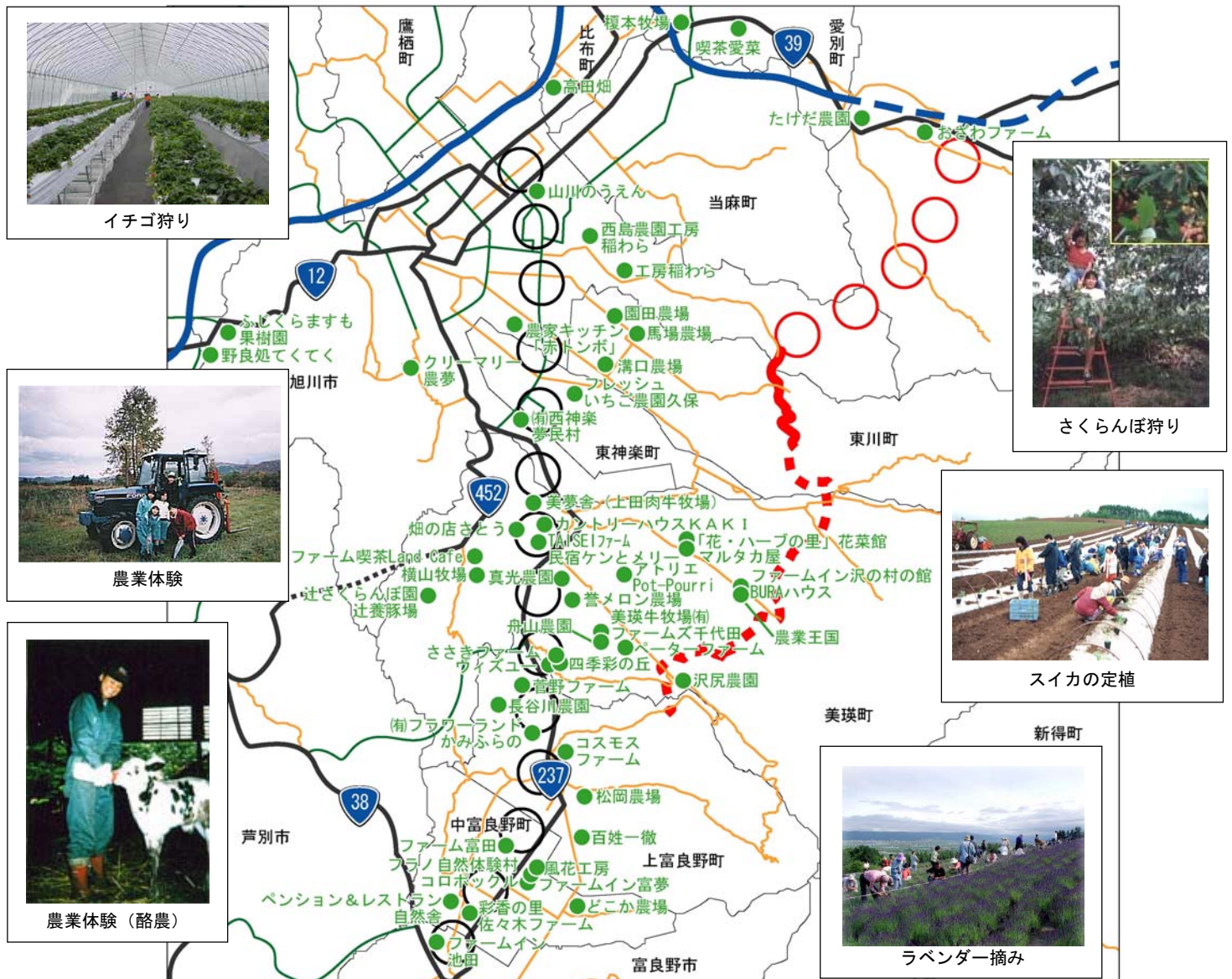
＜農業・自然体験型観光等への取り組みを支援＞

当該路線の周辺では、一次産業を基幹とする地域特性を背景に、都市と農村の交流を深める「グリーン・ツーリズム」が展開されており、農業・体験型観光施設等が多数立地しています。

当該路線の整備により、周辺市町村に位置するこれら交流施設間を連絡する新たなルートが形成され、地域農業の活性化に寄与することが期待されます。

※ グリーン・ツーリズム

緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しみながら、ゆとりある休暇を過ごす活動や、農畜産物の加工販売等の地域おこし活動のこと。



(2) 事業の投資効果

費用便益分析の結果＝事業全体＝

①費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計	828億円	72億円	900億円
基準年における現在価値(C)	509億円	11億円	520億円

②便益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合計
基準年	平成16年度			
単年便益 (初年便益)	32億円	0億円	0億円	33億円
基準年における現在価値(B)	183億円	1億円	0億円	184億円

③結果

費用便益比 (B/C)	0.4
-------------	-----

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	400～1300台	±10%	0.3～0.4
事業費	828億円	±10%	0.3～0.4
事業期間	50年	±10年	0.2～0.4

様式記入上の留意点

1. 費用及び便益額は整数止（費用・便益の額によって小数点以下2桁）とする。
2. 費用、便益の合計及び算定結果は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

費用便益分析の結果－残事業－

①費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計	742億円	61億円	803億円
基準年における現在価値(C)	381億円	9億円	390億円

②便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成16年度			
単年便益 (初年便益)	27億円	-1億円	0億円	27億円
基準年における現在価値(B)	154億円	-3億円	-1億円	150億円

③結果

費用便益比 (B/C)	0.4
-------------	-----

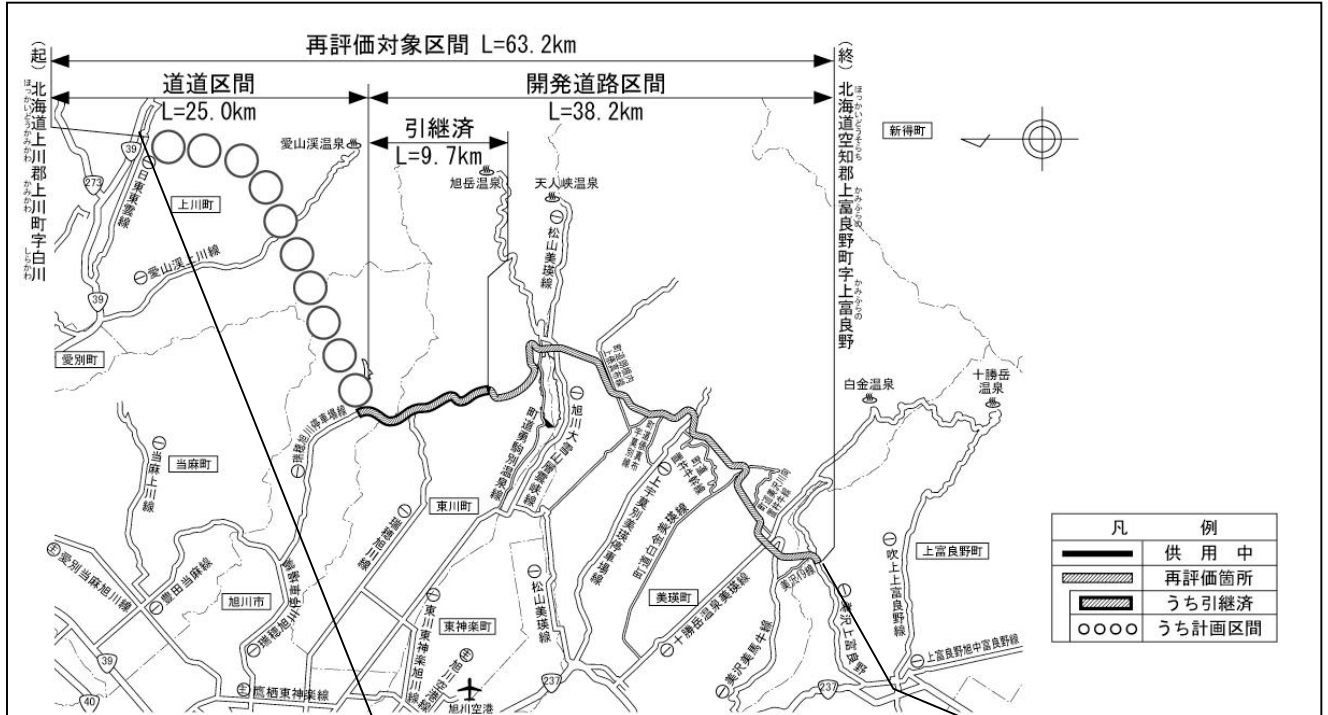
様式記入上の留意点

1. 費用及び便益額は整数止（費用・便益の額によって小数点以下2桁）とする。
2. 費用、便益の合計及び算定結果は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

(3) 事業の進捗状況

富良野上川線は、平成16年度末で用地進捗率は7%、事業進捗率は11%となっています。

■事業の進捗状況



設	計	24%
測量・地質調査		24%
用地進捗率		7%
事業進捗率		11%

平成16年度末

※用地進捗率は用地補償費投入ベース

※事業進捗率は事業費投入ベース

凡例：数字は進捗率

4. コスト縮減や代替案立案等の可能性

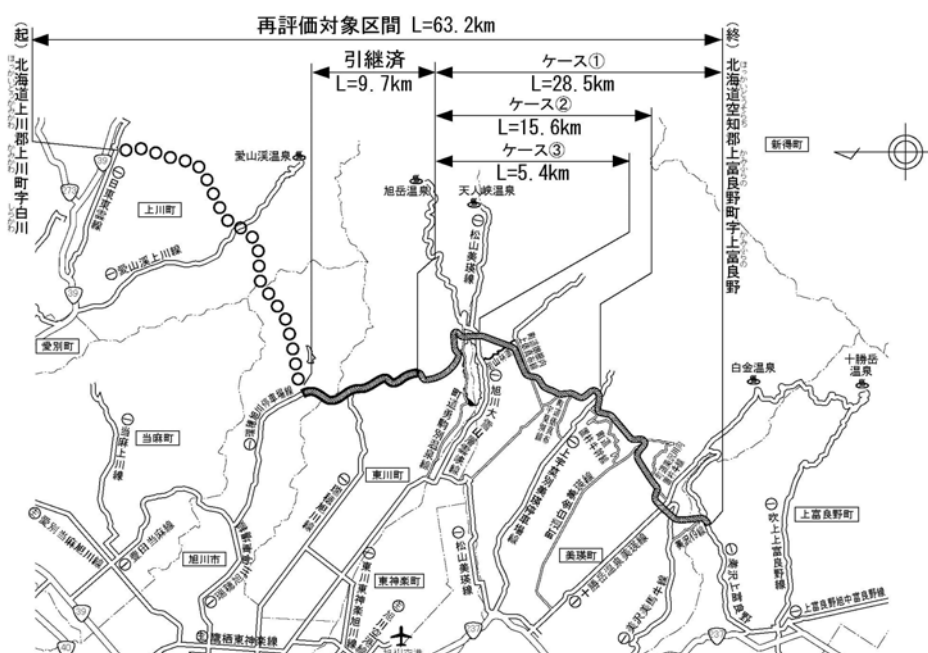
(1) 現在の計画

当該路線は、道路構造令に基づく3種3級（車線数2、設計速度50km、総幅員9.5m（車道部6.5m）、曲線半径100m以上、縦断勾配6%以下）の道路として計画されています。また、ルート選定にあたっては、土工バランスや構造物比率の低減等による経済性、施工性、森林や河川等周辺環境への配慮、雪崩等安全性の確保の視点からルートを選定しています。

(2) 事業規模見直しの可能性

1) 事業区間見直し整備による代替の可能性

- ・ ケース①：事業区間見直し検討（L=28.5km）
 - ・ 本路線の事業区間を一般道道瑞穂旭川停車場線から一般道道美沢上富良野線まで見直した場合。
- ・ ケース②：事業区間見直し検討（L=15.6km）
 - ・ 本路線の事業区間を一般道道瑞穂旭川停車場線から一般道道上宇莫別美瑛停車場線まで見直した場合。
- ・ ケース③：事業区間見直し検討（L=5.4km）
 - ・ 本路線の事業区間を一般道道瑞穂旭川停車場線から一般道道旭川大雪山層雲峡線まで見直した場合。



以上の検討により、各ケースの事業区間を見直し検討した場合、走行速度や冬期間の交通機能は確保されるものの、富良野方面と上川中部地域とを結ぶ広域交通ネットワークが未形成となり、また、旭川市や空港拠点施設等から観光拠点等への有効なアクセス経路にならないため交通需要が見込めません。また、工事完成には最短でも概ね10～30年以上の期間を要します。

以上より、上記代替案によって整備しても、ある程度のコスト縮減が可能となりますが、交通需要や時間短縮効果が得られず、以下の通り費用対効果が見込めません。

ケース①事業区間見直し検討結果（L = 28.5 km）

$$\text{費用便益比（残事業B/C）} = 0.3$$

ケース②事業区間見直し検討結果（L = 15.6 km）

$$\text{費用便益比（残事業B/C）} = 0.5$$

ケース③事業区間見直し検討結果（L = 5.4 km）

$$\text{費用便益比（残事業B/C）} = 0.7$$

(3) 1. 5車線による整備の可能性

既存道路等を活用しローカルルールの導入による待避場や視距改良等による1.5車線整備が考えられます。

ケース① 暫定整備区間から十勝岳温泉美瑛線までの区間26.0kmを1.5車線整備した場合。

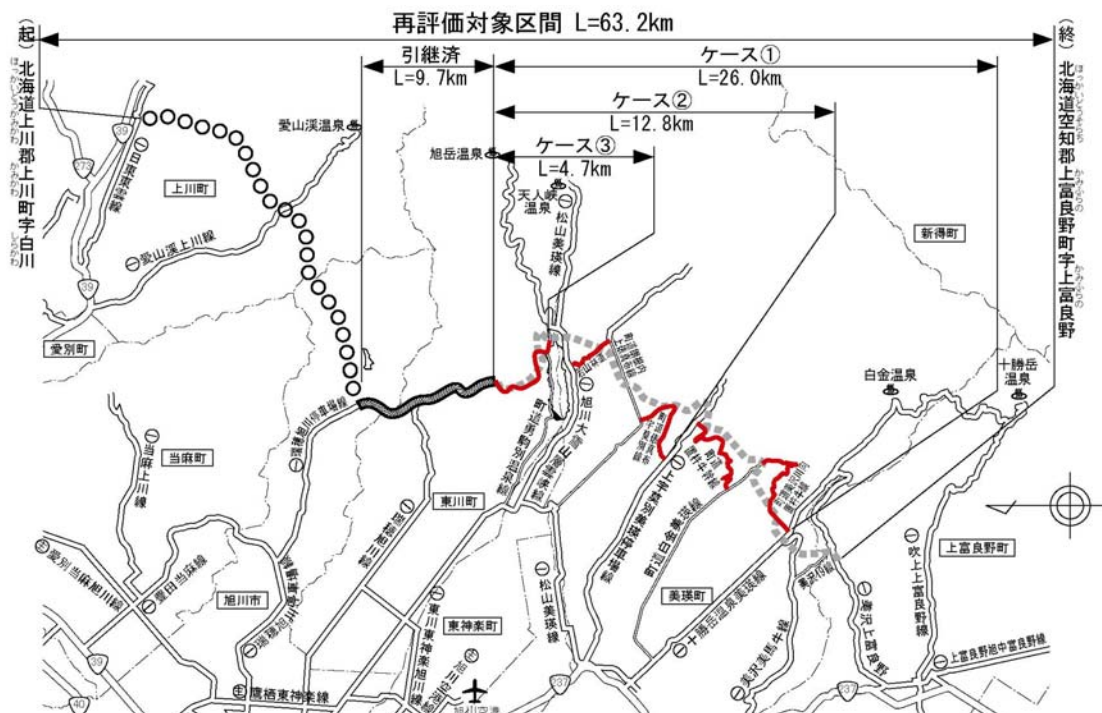
ケース② 暫定整備区間から道道上宇莫別美瑛停車場線までの区間12.8kmを1.5車線整備した場合。

ケース③ 暫定整備区間から町道勇駒別温泉線までの区間4.7kmを1.5車線整備した場合。

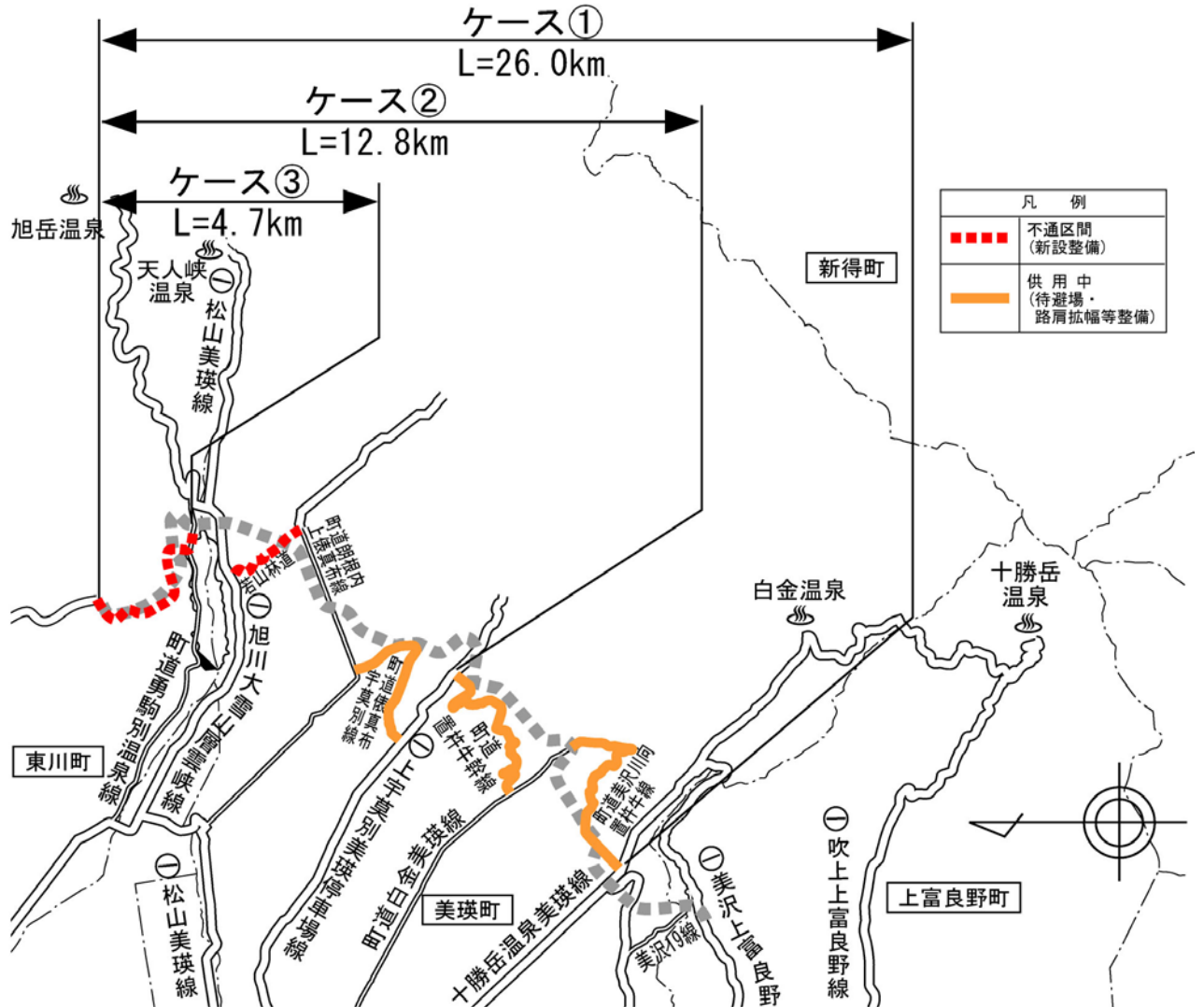
上記代替案によって整備した場合、走行速度が低下し交通需要及び時間短縮効果が減少するとともに、冬期間が通行不能区間となりますが、大幅なコスト縮減や早期整備が可能となります。

ケース①については、旭川市や観光拠点施設への短絡経路とならないことから、費用対効果は1.0に到達しない結果となりました。

ケース②及び③については、旭川市、東川町、美瑛町の観光拠点施設へ直結するルートが形成されるとともに、沿線集落を結ぶことで交通需要が見込めることから、費用対効果は1.0以上の効果が発現します。



拡大図



ケース①：1. 5車線整備した結果 (L=26.0km)

$$\text{費用便益比 (残事業 B/C)} = 0.8$$

ケース②：1. 5車線整備した結果 (L=12.8km)

$$\text{費用便益比 (残事業 B/C)} = 1.2$$

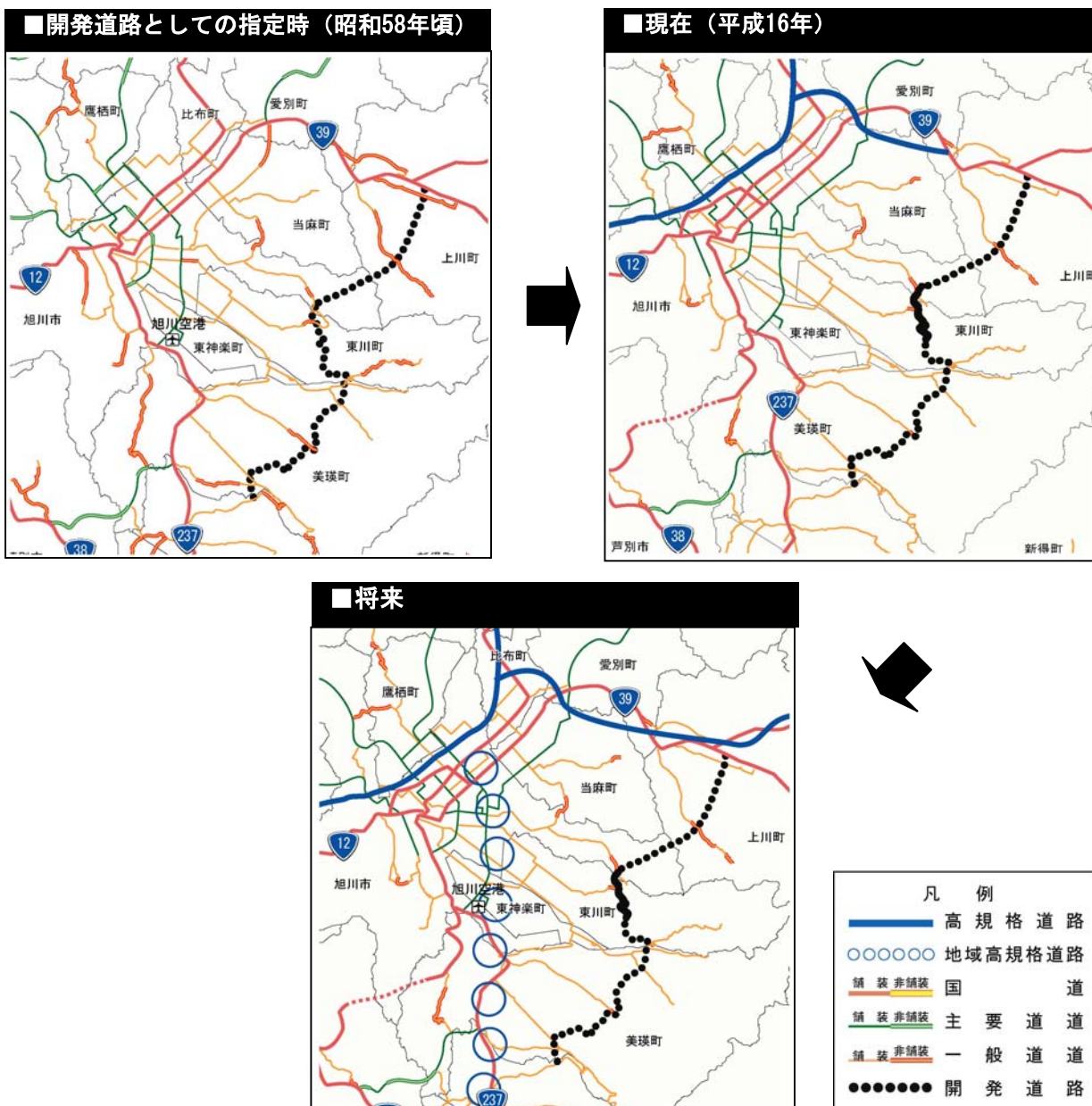
ケース③：1. 5車線整備した結果 (L=4.7km)

$$\text{費用便益比 (残事業 B/C)} = 1.3$$

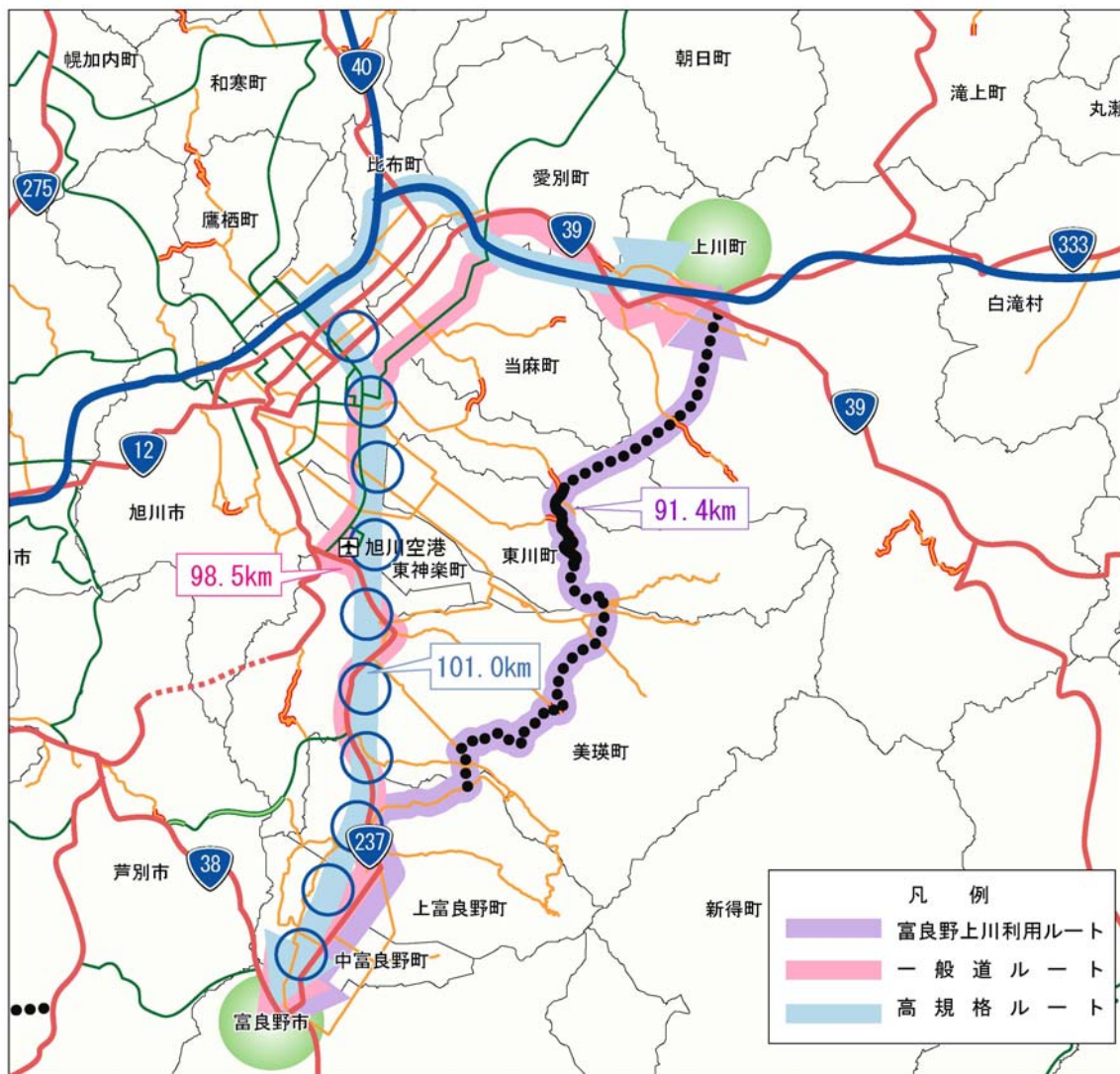
(4) 周辺ネットワークの整備による代替の可能性

開発道路指定当時は周辺の高速ネットワークが整備途上であり、当該路線は道東方面と富良野圏を結び広域的経済交流の可能性を持つネットワークと見なされていました。

その後、現在までに、国道39号、237号の拡幅、線形改良の整備が行われるとともに、北海道縦貫自動車道の延伸や旭川紋別自動車道の整備が進められ、また、地域高規格旭川十勝道路が計画されており、これら事業により当該路線周辺の道路ネットワークの高速性・安全性が向上しています。また、本路線周辺の道道旭川旭岳温泉、東川旭川線等においては砂利道区間の舗装化が進み、走行性が向上しています。



将来は北海道縦貫自動車道、旭川紋別自動車道、旭川十勝道路の全線供用により、道北、道東、旭川圏、富良野圏を結ぶ高速ネットワークが形成され、地域間相互のアクセスが向上することで、当該路線を代替することが可能と考えられます。



■富良野市～上川町間のアクセス比較

5. 関係する地方公共団体等の意見

(1) 地元自治体の意見

地元自治体である東川町（期成会長）、美瑛町、旭川市、富良野市、上富良野町、中富良野町、上川町の7市町村からは、以下の意見が出されています。

○東川町〔期成会長〕

一般道道富良野上川線は、38.2kmが開発道路の指定を受け、現在9.7kmが完成しているところですが、この地域は道内でも有数の農業地帯を形成し、豊富な森林資源や大雪山連峰から十勝岳連峰に連なる層雲峡温泉・愛山溪温泉・21世紀の森・天人峡温泉・旭岳温泉・白金温泉・十勝岳温泉をはじめ、美しい丘陵地帯など豊かな観光資源を有しており、年間約725万人の入込客があります。

さらに、平成18年には忠別ダムが完成することから、新たな観光ルートとして、さらなる期待が寄せられています。

国の財政状況は地方同様厳しい中にあり、富良野上川線においても費用対効果などの面で当初計画での構造による整備が難しく、開発局が示す代替案を含めた検討内容については理解できますが、地域住民の生活の向上と産業の振興に極めて重要な路線であることから、当該検討内容を含め、可能な限りの事業継続について強く希望します。

○美瑛町

一般道道富良野上川線は、38.2 kmが開発道路の指定を受け、現在9.7 kmが完成しているところですが、この地域は道内でも有数の農業地帯を形成し、豊富な森林資源や大雪山連峰から十勝岳連峰に連なる層雲峡温泉・愛山溪温泉・21世紀の森・天人峡温泉・旭岳温泉・びえい白金温泉をはじめ、美しい畑作丘陵地帯など豊かな観光資源を有しており、年間725万人の入込数をもつ北海道観光の一翼を担っており、日本最大の複合ダムとなる忠別ダムが平成18年完成予定であり、新たな観光ルートとの期待がもたれているところであります。

国の財政状況は地方財政同様厳しい中にあり、本路線においても費用対効果などの面で全線完成に向けた整備が難しいことは推測されます。

このため、開発局が示す構造の見直しを含めた代替案の検討内容については理解できますが、本町においては活火山十勝岳の火山災害時におけ

る住民生活の安全確保や放射状の沢沿いに展開する集落構成の状況など、地域住民生活の向上や産業振興に極めて重要な路線であること、また、観光シーズンにおいて渋滞が頻発する富良野旭川間を結び上川方面に向かう広域観光の幹線となる国道 237 号を補完する役割を担うことなどから、当該代替案を含め、道道十勝岳温泉美瑛線に連結するまでの区間について事業を継続して実施することについて強く希望し、意見といたします。

○富良野市

一般道道富良野上川線は、38.2km が開発道路の指定を受け、現在、9.7km が完成しているところですが、この地域は道内でも有数の農業地帯を形成し、豊富な森林資源や大雪山連峰から十勝岳連峰に連なる層雲峡温泉・愛山溪温泉・21 世紀の森・天人峡温泉・旭岳温泉・白金温泉・十勝岳温泉をはじめ、美しい丘陵地帯など、豊かな観光資源を有しており、年間約 725 万人の入込み客があります。

さらに、平成 18 年には忠別ダムが完成することから、新たな観光ルートとして、さらなる期待が寄せられています。

富良野上川線は、計画当初、産業の振興のために重要な路線でありましたが、国の財政状況は地方同様に厳しい状況のなか、富良野上川線においても費用対効果などの面で富良野市から上川町までの全線完成に向けた整備は困難であることは理解できます。

つきまして、開発道路指定区間内の自治体の意向を十分踏まえるとともに、本市おきましては、地域高規格道路が当該路線を代替する可能性も考えられますので、旭川十勝道路の整備促進を強く要望します。

○中富良野町

一般道道富良野上川線は、38.2km が開発道路の指定を受け、現在 9.7km が完成しているところですが、この地域は道内でも有数の農業地帯を形成し、豊富な森林資源や大雪山連峰から十勝岳連峰に連なる層雲峡温泉・愛山溪温泉・21 世紀の森・天人峡温泉・旭岳温泉・白金温泉・十勝岳温泉をはじめ、美しい丘陵地帯など豊かな観光資源を有しており、年間約 725 万人の入込み客があります。

さらに、平成 18 年には忠別ダムが完成することから、新たな観光ルートとして、さらなる期待が寄せられています。

富良野上川線は地域住民の生活の向上と産業の振興に極めて重要な路線であることから、事業を継続して実施することを希望します。

尚、当町は、再評価対象区間外のため代替案による整備についてはコメントする立場で無いと思料します。

○上富良野町

一般道道富良野上川線は、地域の森林資源・観光資源等の活用を図り、地域の一層の活性化を図るために、昭和50年に開発道路に認定されて以来、整備を進められてきましたが、本年3月に開発道路について再評価され、工法の変更も含め方向性が示されると伺っております。

近年の状況を考慮したうえで、上富良野町内の計画区間は事業量的にも少なく、影響が少ないと考えられ、ある程度の計画の見直しを図ることはやむを得ないこととは考えます。

しかしながら、東川町や美瑛町内においては、すでに完成した区間、着工した区間なども多くあり、これらの区間が繋がらなければ、その事業効果も発揮することができないばかりか、地元の地域活性化や経済に与える影響は非常に大きなものであり、地域にとって大きな問題となると考えられます。

今までともに推進してきた立場もあり、上富良野町としては、東川町や美瑛町の意向を最大限尊重して参りたいと考えております。

○旭川市

一般道道富良野上川線は、38.2kmが開発道路の指定を受け、現在、9.7kmが完成しているところですが、この地域は道内でも有数の農業地帯を形成し、豊富な森林資源や大雪山連峰から十勝岳連峰に連なる層雲峡温泉・愛山溪温泉・21世紀の森・天人峡温泉・旭岳温泉・白銀温泉・十勝岳温泉をはじめ、美しい丘陵地帯など、豊かな観光資源を有しており、年間約725万人の入込み客があります。

また、本路線は、旭山動物園を核とした観光エリアの形成に大きな役割を果たすものであり、地域の観光振興に期待が寄せられています。

国の財政状況は地方同様厳しい中にあり、富良野上川線においても費用対効果などの面で全線完成に向けた整備が難しいことは理解できますが、地域住民の生活の向上と観光等産業振興に極めて重要な路線であることから、このような機能を発揮し、圏域の発展につながるよう事業の継続を希望いたします。

○上川町

一般道道富良野上川線は、開発道路の指定を受け一部整備がなされているところではありますが、この地域は道内でも有数の農業地帯を形成し、豊富な森林資源や大雪山連峰から十勝岳連峰に連なる層雲峡温泉・愛山溪温泉・21世紀の森・天人峡温泉・旭岳温泉・白金温泉・十勝岳温泉など豊かな観光資源を有しており、年間725万人の入込み客があります。

さらに、平成18年には忠別ダムが完成することから、新たな観光ルートとして期待が寄せられています。

国の財政状況は地方同様厳しい中にあり、富良野上川線においても費用対効果などの面で全線完成に向けた整備が難しいことは理解できます。しかし、富良野上川線は産業の振興に極めて重要な路線であり、地域の活性化を担う上でも当該事業の継続実施を希望します。

(2) 北海道知事の意見

国、地方を問わず財政状況は一段と厳しさを増しており、また、公共投資においても、さらに縮減の動きがある中で、北海道における社会資本の整備を進めるにあたっては、これまで以上に事業の重点化・効率化を一層すすめて、早期に整備の効果を発現していくことが重要であると考えております。

道としては、地域間の交流・連携、自律的發展に不可欠な高規格幹線道路について重点的に整備促進を図るべきと考えており、北海道開発局において進められている開発道路一般道道富良野上川線についての意見は、次のとおりです。

一般道道富良野上川線は、大雪山山麓の観光地をネットワーク化し観光振興に寄与する路線であると認識している。

しかしながら、当路線の事業執行上の課題及び現在の事業の進捗状況等を勘案すると、当初計画どおりに事業を行うことは困難と考えられることから、整備区間は費用対効果の得られる未開削区間を基本とし、代替案による整備もやむを得ない。

(参考) 関係する期成会の要望経緯

期成会等名称	会 長	主な構成メンバー	備考
開発道路白川美 唄線整備促進期 成会	東川町長 松岡 市郎	旭川市、富良野市、上川町、 東川町、美瑛町、中富良野町、 上富良野町の首長	要望内容： 「開発道路白川美唄 線の建設促進を要望 する」 平成16年度要望有
上川地方総合開 発期成会	旭川市長 菅原 功一	旭川市、士別市、名寄市、富 良野市、鷹栖町、東神楽町、 当麻町、比布町、愛別町、上 川町、東川町、美瑛町、上富 良野町、中富良野町、南富良 野町、和寒町、剣淵町、朝日 町、風連町、下川町、美深町、 中川町、占冠村、中川町の首 長	要望内容： 「東川美瑛道路の整 備促進を要望する」 平成16年度要望有
旭川市	旭川市長 菅原 功一	旭川市	要望内容： 「開発道路白川美唄 線の整備促進を要望 する」 平成16年度要望有

6. 対応方針

「国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（平成15年3月31日）」に基づき、「事業の必要性等」「事業の進捗の見込み」「コスト縮減や代替案等の可能性」の評価の視点及び「関係地方公共団体等の意見」を踏まえ、以下の通り対応方針を決定します。

（1）路線の状況

一般道道富良野上川線は、富良野市と上川町を結ぶ延長約87kmの道路であり、このうち、上富良野町から旭川市までの延長約38kmが開発道路に指定されています。

当該事業は、大雪山麓から富良野市に至る国道網を補完し、関係7市町（上川町、旭川市、東川町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市）を横断的に連絡するとともに、周辺に展開する観光拠点の広域連携、地域プロジェクト連携、農産品の流通支援等を目的とした路線であり、平成15年度までに約10kmを北海道に引き継いでいます。

（2）現在の計画における評価

本路線は上川中部地域の大雪山麓を縦走し、急峻な山岳地や多数の渓谷を横断するため、トンネルや橋梁等の大規模構造物が多数必要となるほか、地滑り地形を通過する区間もあるなど、残事業量が多大で厳しい現地条件にさらされています。また、豪雪地域のため、施工期間も限定されます。

このような地形・地質・周辺環境などの現地条件を勘案すると、残る区間の約54kmを完成させるには最短でも約30年以上の期間が見込まれます。

また、今後の地滑り対策やその他の不確定要素によっては、更に大きなコスト増及び事業期間の延伸も想定されるところです。

このため、「事業の必要性及び事業進捗の見込み」の視点において、当該諸条件を勘案すると、事業期間の短縮は難しく、将来の不確実性も想定され、十分な費用対効果を得ることは難しいことから、より一層のコスト縮減を図っても、現計画での事業継続は困難な状況にあります。

（3）代替案立案等の視点から見た評価

当該路線は、旭川市から放射状に延びた複数の道道網と交差し、一帯には東川市街、美瑛市街、居住集落、周辺農地、周辺観光施設等が多数分布することから、道道網の横の連絡を図る区間的検討やローカルルールによる構造規格の検討など、地域の利便性や区間的な連携機能を発揮する多彩な代替案の立案が可能な条件下にあります。

このため、完成区間から道道旭川大雪山層雲峡線、道道上宇莫別美瑛停車場線、十勝岳温泉美瑛線までの開発道路指定区間において、①完成整備により各道道までのネットワークを形成する、②ローカルルールを採用した1.5車線整備により各道道までのネットワークを形成する、以上の代替案について評価した結果、完成区間から道道上宇莫別美瑛停車場線までの1.5車線整備案で既存の道道を連絡することにより、費用対効果が見込まれ、かつ、早期整備効果の発現が可能との結果が得られました。

(4) 対応方針

これらのことから、富良野上川線については、費用対効果と早期整備の観点ならびに地域の利活用と観光施設等への利用拡大に配慮し、費用対効果が得られる1.5車線整備区間について、本来管理者である北海道と調整を図りながら整備を進めることとします。

また、未着手となっている他の区間の整備は行わないこととします。

なお、富良野上川線がもつ広域道路ネットワーク形成機能への代替としては、関係地方公共団体等の意見を踏まえ、本路線周辺の旭川紋別自動車道や旭川十勝道路の整備促進など、周辺道路ネットワーク機能の更なる充実に関する検討を進めることとします。

費用便益分析の結果：全体事業

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B Pの別
一般道道	富良野上川線	L = 63.2 km	一次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
400 ~ 1,300	2	北海道開発局

費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計	828億円	72億円	900億円
うち残事業分	742億円	61億円	803億円
基準年における 現在価値 (C)	509億円	11億円	520億円
うち残事業分	381億円	9億円	390億円

便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成16年度			
供 用 年	平成48年度			
単年便益 (初年便益)	32億円	0億円	0億円	33億円
基準年における 現在価値 (B)	183億円	1億円	0億円	184億円
うち残事業分	154億円	-3億円	-1億円	150億円

結 果

費用便益比 (事業全体)	0.4
費用便益比 (残事業)	0.4

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

感 度 分 析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B / C)
交通量	400 ~ 1,300	± 10%	0.3 ~ 0.4
事業費	828億円	± 10%	0.3 ~ 0.4
事業期間	50年	± 10年	0.2 ~ 0.4

交通状況の変化

事業名：一般道道富良野上川線（全体事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 63.2km	交通量	[台/日]	0	1,100	
	走行時間	[分]	0	76	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	27.42	
②主な周辺道路	旭川紋別 自動車道 : 45.0km	交通量	[台/日]	12,500	12,000
		走行時間	[分]	42	41
		走行時間費用	[億円/年]	184.41	166.95
	道) 愛別 当麻旭川 線 : 19.1km	交通量	[台/日]	5,600	4,800
		走行時間	[分]	37	33
		走行時間費用	[億円/年]	72.79	57.35
	道) 旭川 旭岳温泉 線 : 28.5km	交通量	[台/日]	5,000	4,500
		走行時間	[分]	48	46
		走行時間費用	[億円/年]	91.02	80.15
	道) 松山 美瑛線 : 13.9km	交通量	[台/日]	2,300	1,600
		走行時間	[分]	21	21
		走行時間費用	[億円/年]	15.82	11.32
	道) 上宇 莫別美瑛 停車場線 : 16.4km	交通量	[台/日]	1,100	700
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	8.31	5.00
③その他道路合計 : 1,457.5km	走行時間費用	[億円/年]	4,013.27	4,004.50	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計 : 1,643.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,385.62	4,352.69	32.93

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

交通状況の変化

事業名：一般道道富良野上川線（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 53.5km	交通量	[台/日]	0	1,100	
	走行時間	[分]	0	76	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	27.42	
②主な周辺道路	旭川紋別 自動車道 : 45.0km	交通量	[台/日]	12,500	12,000
		走行時間	[分]	42	41
		走行時間費用	[億円/年]	184.41	166.95
	道) 愛別 当麻旭川 線 : 19.1km	交通量	[台/日]	5,600	4,800
		走行時間	[分]	37	33
		走行時間費用	[億円/年]	72.79	57.35
	道) 旭川 旭岳温泉 線 : 28.5km	交通量	[台/日]	5,000	4,500
		走行時間	[分]	48	46
		走行時間費用	[億円/年]	90.99	80.15
	道) 松山 美瑛線 : 13.9km	交通量	[台/日]	2,300	1,600
		走行時間	[分]	21	21
		走行時間費用	[億円/年]	15.82	11.32
	道) 上宇 莫別美瑛 停車場線 : 16.4km	交通量	[台/日]	1,100	700
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	8.31	5.00
③その他道路合計 : 1,467.2km	走行時間費用	[億円/年]	4,008.00	4,004.50	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計 : 1,643.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,380.32	4,352.69	27.63

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

費用便益分析の条件

事業名：富良野上川線

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成16年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の場合	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載 交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

費用の現在価値算定表(全体事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般道道 富良野上川線

採用単価の根拠 実績値		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.03	63.2	1.90

年次	年度	割戻率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-50年目	S 61	2.0258	0.99	2.01	0.00	0.00
-49年目	S 62	1.9479	2.70	5.26	0.00	0.00
-48年目	S 63	1.8730	3.52	6.59	0.00	0.00
-47年目	H 1	1.8009	3.64	6.56	0.00	0.00
-46年目	H 2	1.7317	5.39	9.33	0.00	0.00
-45年目	H 3	1.6651	7.00	11.66	0.00	0.00
-44年目	H 4	1.6010	9.30	14.89	0.00	0.00
-43年目	H 5	1.5395	7.82	12.04	0.00	0.00
-42年目	H 6	1.4802	7.98	11.81	0.00	0.00
-41年目	H 7	1.4233	8.00	11.39	0.00	0.00
-40年目	H 8	1.3686	7.71	10.55	0.00	0.00
-39年目	H 9	1.3159	2.80	3.68	0.00	0.00
-38年目	H 10	1.2653	3.86	4.88	0.00	0.00
-37年目	H 11	1.2167	3.83	4.66	0.00	0.00
-36年目	H 12	1.1699	4.56	5.33	0.00	0.00
-35年目	H 13	1.1249	3.95	4.44	0.00	0.00
-34年目	H 14	1.0816	0.75	0.81	0.00	0.00
-33年目	H 15	1.0400	2.08	2.16	0.00	0.00
-32年目	H 16	1.0000	0.00	0.00	0.00	0.00
-31年目	H 17	0.9615	13.80	13.27	0.00	0.00
-30年目	H 18	0.9246	13.80	12.76	0.00	0.00
-29年目	H 19	0.8890	13.80	12.27	0.00	0.00
-28年目	H 20	0.8548	13.80	11.80	0.00	0.00
-27年目	H 21	0.8219	13.80	11.34	0.00	0.00
-26年目	H 22	0.7903	13.80	10.91	0.00	0.00
-25年目	H 23	0.7599	13.80	10.49	0.00	0.00
-24年目	H 24	0.7307	13.80	10.08	0.00	0.00
-23年目	H 25	0.7026	22.07	15.51	0.00	0.00
-22年目	H 26	0.6756	22.07	14.91	0.00	0.00
-21年目	H 27	0.6496	22.07	14.34	0.00	0.00
-20年目	H 28	0.6246	8.27	5.17	0.00	0.00
-19年目	H 29	0.6006	8.27	4.97	0.00	0.00
-18年目	H 30	0.5775	26.33	15.21	0.00	0.00
-17年目	H 31	0.5553	26.33	14.62	0.00	0.00
-16年目	H 32	0.5339	33.22	17.74	0.00	0.00
-15年目	H 33	0.5134	33.23	17.06	0.00	0.00
-14年目	H 34	0.4936	33.23	16.40	0.00	0.00
-13年目	H 35	0.4746	33.23	15.77	0.00	0.00
-12年目	H 36	0.4564	34.28	15.65	0.00	0.00
-11年目	H 37	0.4388	34.28	15.04	0.00	0.00
-10年目	H 38	0.4220	34.28	14.47	0.00	0.00
-9年目	H 39	0.4057	34.28	13.91	0.00	0.00
-8年目	H 40	0.3901	34.26	13.36	0.00	0.00
-7年目	H 41	0.3751	27.38	10.27	0.00	0.00
-6年目	H 42	0.3607	27.38	9.88	0.00	0.00
-5年目	S 43	0.3468	27.38	9.50	0.00	0.00
-4年目	S 44	0.3335	27.39	9.13	0.00	0.00
-3年目	S 45	0.3207	27.39	8.78	0.00	0.00
-2年目	S 46	0.3083	27.39	8.44	0.00	0.00
-1年目	H 47	0.2965	27.39	8.12	0.00	0.00
供用開始年次	H 48	0.2851	0.00	0.00	1.81	0.52
1年目	H 49	0.2741	0.00	0.00	1.81	0.50
2年目	H 50	0.2636	0.00	0.00	1.81	0.48
3年目	H 51	0.2534	0.00	0.00	1.81	0.46
4年目	H 52	0.2437	0.00	0.00	1.81	0.44
5年目	H 53	0.2343	0.00	0.00	1.81	0.42
6年目	H 54	0.2253	0.00	0.00	1.81	0.41
7年目	H 55	0.2166	0.00	0.00	1.81	0.39
8年目	H 56	0.2083	0.00	0.00	1.81	0.38
9年目	H 57	0.2003	0.00	0.00	1.81	0.36
10年目	H 58	0.1926	0.00	0.00	1.81	0.35
11年目	H 59	0.1852	0.00	0.00	1.81	0.34
12年目	H 60	0.1780	0.00	0.00	1.81	0.32
13年目	H 61	0.1712	0.00	0.00	1.81	0.31
14年目	H 62	0.1646	0.00	0.00	1.81	0.30
15年目	H 63	0.1583	0.00	0.00	1.81	0.29
16年目	H 64	0.1522	0.00	0.00	1.81	0.28
17年目	H 65	0.1463	0.00	0.00	1.81	0.26
18年目	H 66	0.1407	0.00	0.00	1.81	0.25
19年目	H 67	0.1353	0.00	0.00	1.81	0.24
20年目	H 68	0.1301	0.00	0.00	1.81	0.24
21年目	H 69	0.1251	0.00	0.00	1.81	0.23
22年目	H 70	0.1203	0.00	0.00	1.81	0.22
23年目	H 71	0.1157	0.00	0.00	1.81	0.21
24年目	H 72	0.1112	0.00	0.00	1.81	0.20
25年目	H 73	0.1069	0.00	0.00	1.81	0.19
26年目	H 74	0.1028	0.00	0.00	1.81	0.19
27年目	H 75	0.0989	0.00	0.00	1.81	0.18
28年目	H 76	0.0951	0.00	0.00	1.81	0.17
29年目	H 77	0.0914	0.00	0.00	1.81	0.17
30年目	H 78	0.0879	0.00	0.00	1.81	0.16

31年目	H 79	0.0845	0.00	0.00	1.81	0.15
32年目	H 80	0.0813	0.00	0.00	1.81	0.15
33年目	H 81	0.0781	0.00	0.00	1.81	0.14
34年目	H 82	0.0751	0.00	0.00	1.81	0.14
35年目	H 83	0.0722	0.00	0.00	1.81	0.13
36年目	H 84	0.0695	0.00	0.00	1.81	0.13
37年目	H 85	0.0668	0.00	0.00	1.81	0.12
38年目	H 86	0.0642	0.00	0.00	1.81	0.12
39年目	H 87	0.0617	-5.18	-0.32	1.81	0.11
合計			822.50	508.90	72.40	10.65
単純事業費計			827.68		72.40	

- 注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。
- 注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般道 富良野上川線

			採用単価の根拠 実績値			
			単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
			0.03	53.5	1.61	
年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-31年目	H 17	0.9615	13.80	13.27	0.00	0.00
-30年目	H 18	0.9246	13.80	12.76	0.00	0.00
-29年目	H 19	0.8890	13.80	12.27	0.00	0.00
-28年目	H 20	0.8548	13.80	11.80	0.00	0.00
-27年目	H 21	0.8219	13.80	11.34	0.00	0.00
-26年目	H 22	0.7903	13.80	10.91	0.00	0.00
-25年目	H 23	0.7599	13.80	10.49	0.00	0.00
-24年目	H 24	0.7307	13.80	10.08	0.00	0.00
-23年目	H 25	0.7026	22.07	15.51	0.00	0.00
-22年目	H 26	0.6756	22.07	14.91	0.00	0.00
-21年目	H 27	0.6496	22.07	14.34	0.00	0.00
-20年目	H 28	0.6246	8.27	5.17	0.00	0.00
-19年目	H 29	0.6006	8.27	4.97	0.00	0.00
-18年目	H 30	0.5775	26.33	15.21	0.00	0.00
-17年目	H 31	0.5553	26.33	14.62	0.00	0.00
-16年目	H 32	0.5339	33.22	17.74	0.00	0.00
-15年目	H 33	0.5134	33.23	17.06	0.00	0.00
-14年目	H 34	0.4936	33.23	16.40	0.00	0.00
-13年目	H 35	0.4746	33.23	15.77	0.00	0.00
-12年目	H 36	0.4564	34.28	15.65	0.00	0.00
-11年目	H 37	0.4388	34.28	15.04	0.00	0.00
-10年目	H 38	0.4220	34.28	14.47	0.00	0.00
-9年目	H 39	0.4057	34.28	13.91	0.00	0.00
-8年目	H 40	0.3901	34.26	13.36	0.00	0.00
-7年目	H 41	0.3751	27.38	10.27	0.00	0.00
-6年目	H 42	0.3607	27.38	9.88	0.00	0.00
-5年目	S 43	0.3468	27.38	9.50	0.00	0.00
-4年目	S 44	0.3335	27.39	9.13	0.00	0.00
-3年目	S 45	0.3207	27.39	8.78	0.00	0.00
-2年目	S 46	0.3083	27.39	8.44	0.00	0.00
-1年目	H 47	0.2965	27.39	8.12	0.00	0.00
供用開始年次	H 48	0.2851	0.00	0.00	1.53	0.44
1年目	H 49	0.2741	0.00	0.00	1.53	0.42
2年目	H 50	0.2636	0.00	0.00	1.53	0.40
3年目	H 51	0.2534	0.00	0.00	1.53	0.39
4年目	H 52	0.2437	0.00	0.00	1.53	0.37
5年目	H 53	0.2343	0.00	0.00	1.53	0.36
6年目	H 54	0.2253	0.00	0.00	1.53	0.34
7年目	H 55	0.2166	0.00	0.00	1.53	0.33
8年目	H 56	0.2083	0.00	0.00	1.53	0.32
9年目	H 57	0.2003	0.00	0.00	1.53	0.31
10年目	H 58	0.1926	0.00	0.00	1.53	0.29
11年目	H 59	0.1852	0.00	0.00	1.53	0.28
12年目	H 60	0.1780	0.00	0.00	1.53	0.27
13年目	H 61	0.1712	0.00	0.00	1.53	0.26
14年目	H 62	0.1646	0.00	0.00	1.53	0.25
15年目	H 63	0.1583	0.00	0.00	1.53	0.24
16年目	H 64	0.1522	0.00	0.00	1.53	0.23
17年目	H 65	0.1463	0.00	0.00	1.53	0.22
18年目	H 66	0.1407	0.00	0.00	1.53	0.22
19年目	H 67	0.1353	0.00	0.00	1.53	0.21
20年目	H 68	0.1301	0.00	0.00	1.53	0.20
21年目	H 69	0.1251	0.00	0.00	1.53	0.19
22年目	H 70	0.1203	0.00	0.00	1.53	0.18
23年目	H 71	0.1157	0.00	0.00	1.53	0.18
24年目	H 72	0.1112	0.00	0.00	1.53	0.17
25年目	H 73	0.1069	0.00	0.00	1.53	0.16
26年目	H 74	0.1028	0.00	0.00	1.53	0.16
27年目	H 75	0.0989	0.00	0.00	1.53	0.15
28年目	H 76	0.0951	0.00	0.00	1.53	0.15
29年目	H 77	0.0914	0.00	0.00	1.53	0.14
30年目	H 78	0.0879	0.00	0.00	1.53	0.13
31年目	H 79	0.0845	0.00	0.00	1.53	0.13
32年目	H 80	0.0813	0.00	0.00	1.53	0.12
33年目	H 81	0.0781	0.00	0.00	1.53	0.12
34年目	H 82	0.0751	0.00	0.00	1.53	0.11
35年目	H 83	0.0722	0.00	0.00	1.53	0.11
36年目	H 84	0.0695	0.00	0.00	1.53	0.11
37年目	H 85	0.0668	0.00	0.00	1.53	0.10
38年目	H 86	0.0642	0.00	0.00	1.53	0.10
39年目	H 87	0.0617	-5.08	-0.31	1.53	0.09
合計			736.72	380.86	61.20	8.95
単純事業費計			741.80		61.20	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

走行時間短縮便益の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:一般道道 富良野上川線

年次	年度 (基準年) H16	総走行台キロの年次別伸び率 (北海道ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)					事故損出費用(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 48	0.99799	0.99531	0.99739	0.2851	20.46	5.10	1.89	5.00	32.45	9.25	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.06	-0.04	-0.01	32.62	9.30
1年目	H 49	0.99799	0.99529	0.99738	0.2741	20.42	5.09	1.88	4.98	32.37	8.87	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.06	-0.04	-0.01	32.54	8.92
2年目	H 50	0.99799	0.99527	0.99738	0.2636	20.38	5.08	1.87	4.96	32.29	8.51	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.06	-0.04	-0.01	32.46	8.56
3年目	H 51	0.99798	0.99525	0.99737	0.2534	20.34	5.07	1.86	4.94	32.21	8.16	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.05	-0.04	-0.01	32.38	8.20
4年目	H 52	0.99798	0.99522	0.99736	0.2437	20.30	5.06	1.85	4.92	32.13	7.83	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.05	-0.04	-0.01	32.30	7.87
5年目	H 53	0.99706	0.99834	0.99734	0.2343	20.24	5.05	1.85	4.91	32.05	7.51	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.05	-0.04	-0.01	32.22	7.55
6年目	H 54	0.99705	0.99834	0.99734	0.2253	20.18	5.04	1.85	4.90	31.97	7.20	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.05	-0.04	-0.01	32.14	7.24
7年目	H 55	0.99704	0.99834	0.99733	0.2166	20.12	5.03	1.85	4.89	31.89	6.91	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.05	-0.04	-0.01	32.06	6.95
8年目	H 56	0.99703	0.99833	0.99732	0.2083	20.06	5.02	1.85	4.88	31.81	6.63	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.04	-0.04	-0.01	31.98	6.66
9年目	H 57	0.99702	0.99833	0.99732	0.2003	20.00	5.01	1.85	4.87	31.73	6.36	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.04	-0.04	-0.01	31.90	6.39
10年目	H 58	0.99701	0.99833	0.99731	0.1926	19.94	5.00	1.85	4.86	31.65	6.10	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.04	-0.04	-0.01	31.82	6.13
11年目	H 59	0.99700	0.99833	0.99730	0.1852	19.88	4.99	1.85	4.85	31.57	5.85	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.04	-0.04	-0.01	31.74	5.88
12年目	H 60	0.99700	0.99832	0.99729	0.1780	19.82	4.98	1.85	4.84	31.49	5.61	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.04	-0.04	-0.01	31.66	5.64
13年目	H 61	0.99699	0.99832	0.99729	0.1712	19.76	4.97	1.85	4.83	31.41	5.38	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.04	-0.04	-0.01	31.58	5.41
14年目	H 62	0.99698	0.99832	0.99728	0.1646	19.70	4.95	1.85	4.82	31.32	5.16	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.03	-0.04	-0.01	31.49	5.18
15年目	H 63	0.99697	0.99831	0.99727	0.1583	19.64	4.94	1.85	4.81	31.24	4.95	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.03	-0.04	-0.01	31.41	4.97
16年目	H 64	0.99696	0.99831	0.99726	0.1522	19.58	4.92	1.85	4.80	31.15	4.74	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.03	-0.04	-0.01	31.32	4.76
17年目	H 65	0.99695	0.99831	0.99726	0.1463	19.52	4.90	1.85	4.79	31.06	4.54	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.03	-0.04	-0.01	31.23	4.56
18年目	H 66	0.99694	0.99831	0.99725	0.1407	19.46	4.89	1.85	4.78	30.98	4.36	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.03	-0.04	-0.01	31.15	4.38
19年目	H 67	0.99693	0.99830	0.99724	0.1353	19.40	4.87	1.85	4.77	30.89	4.18	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.03	-0.04	-0.01	31.06	4.20
20年目	H 68	0.99692	0.99830	0.99723	0.1301	19.34	4.86	1.85	4.76	30.81	4.01	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.03	-0.04	-0.01	30.98	4.03
21年目	H 69	0.99691	0.99830	0.99723	0.1251	19.28	4.84	1.85	4.75	30.72	3.84	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.03	-0.04	-0.01	30.89	3.86
22年目	H 70	0.99690	0.99829	0.99722	0.1203	19.22	4.82	1.85	4.74	30.63	3.68	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.03	-0.04	0.00	30.80	3.71
23年目	H 71	0.99689	0.99829	0.99721	0.1157	19.16	4.81	1.85	4.73	30.55	3.53	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	30.72	3.55
24年目	H 72	0.99688	0.99829	0.99720	0.1112	19.10	4.79	1.85	4.72	30.46	3.39	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	30.63	3.41
25年目	H 73	0.99687	0.99829	0.99720	0.1069	19.04	4.78	1.85	4.71	30.38	3.25	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	30.55	3.27
26年目	H 74	0.99686	0.99828	0.99719	0.1028	18.98	4.76	1.85	4.70	30.29	3.11	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	30.46	3.13
27年目	H 75	0.99685	0.99828	0.99718	0.0989	18.92	4.75	1.85	4.69	30.21	2.99	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	30.38	3.01
28年目	H 76	0.99684	0.99828	0.99717	0.0951	18.86	4.73	1.85	4.68	30.12	2.86	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	30.29	2.88
29年目	H 77	0.99683	0.99827	0.99716	0.0914	18.80	4.72	1.85	4.67	30.04	2.75	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	30.21	2.77
30年目	H 78	0.99682	0.99827	0.99716	0.0879	18.74	4.70	1.85	4.66	29.95	2.63	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	30.12	2.65
31年目	H 79	0.99681	0.99827	0.99715	0.0845	18.68	4.69	1.85	4.65	29.87	2.52	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	30.04	2.54
32年目	H 80	0.99680	0.99826	0.99714	0.0813	18.62	4.67	1.85	4.64	29.78	2.42	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	29.95	2.44
33年目	H 81	0.99679	0.99826	0.99713	0.0781	18.56	4.66	1.85	4.63	29.70	2.32	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	29.87	2.34
34年目	H 82	0.99678	0.99826	0.99712	0.0751	18.50	4.64	1.85	4.62	29.61	2.22	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	29.78	2.24
35年目	H 83	0.99677	0.99826	0.99711	0.0722	18.44	4.63	1.85	4.61	29.53	2.13	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.02	-0.04	0.00	29.70	2.15
36年目	H 84	0.99676	0.99825	0.99711	0.0695	18.38	4.61	1.85	4.60	29.44	2.05	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.01	-0.04	0.00	29.61	2.06
37年目	H 85	0.99675	0.99825	0.99710	0.0668	18.32	4.60	1.85	4.59	29.36	1.96	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.01	-0.04	0.00	29.53	1.97
38年目	H 86	0.99674	0.99825	0.99709	0.0642	18.26	4.59	1.85	4.58	29.28	1.88	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.01	-0.04	0.00	29.45	1.89
39年目	H 87	0.99673	0.99824	0.99708	0.0617	18.20	4.57	1.85	4.57	29.19	1.80	0.32	0.03	0.04	-0.18	0.21	0.01	-0.04	0.00	29.36	1.81
合計						774.60	194.18	74.10	190.70	1,233.58	183.44	12.80	1.20	1.60	-7.20	8.40	1.24	-1.60	-0.22	1,240.38	184.46

走行時間短縮便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般道道 富良野上川線

年次	年度 (基準年) H16	総走行台キロの年次別伸び率 (北海道ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)					事故損出費用(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 48	0.99799	0.99531	0.99739	0.2851	17.16	4.25	1.48	4.32	27.21	7.76	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.15	-0.16	-0.05	26.52	7.56
1年目	H 49	0.99799	0.99529	0.99738	0.2741	17.13	4.24	1.47	4.30	27.14	7.44	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.15	-0.16	-0.04	26.45	7.25
2年目	H 50	0.99799	0.99527	0.99738	0.2636	17.10	4.23	1.46	4.28	27.07	7.14	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.14	-0.16	-0.04	26.38	6.96
3年目	H 51	0.99798	0.99525	0.99737	0.2534	17.07	4.22	1.45	4.26	27.00	6.84	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.13	-0.16	-0.04	26.31	6.67
4年目	H 52	0.99798	0.99522	0.99736	0.2437	17.04	4.21	1.44	4.24	26.93	6.56	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.13	-0.16	-0.04	26.24	6.39
5年目	H 53	0.99706	0.99834	0.99734	0.2343	16.99	4.20	1.44	4.23	26.86	6.29	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.12	-0.16	-0.04	26.17	6.13
6年目	H 54	0.99705	0.99834	0.99734	0.2253	16.94	4.19	1.44	4.22	26.79	6.04	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.12	-0.16	-0.04	26.10	5.88
7年目	H 55	0.99704	0.99834	0.99733	0.2166	16.89	4.18	1.44	4.21	26.72	5.79	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.11	-0.16	-0.03	26.03	5.65
8年目	H 56	0.99703	0.99833	0.99732	0.2083	16.84	4.17	1.44	4.20	26.65	5.55	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.11	-0.16	-0.03	25.96	5.41
9年目	H 57	0.99702	0.99833	0.99732	0.2003	16.79	4.16	1.44	4.19	26.58	5.32	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.11	-0.16	-0.03	25.89	5.18
10年目	H 58	0.99701	0.99833	0.99731	0.1926	16.74	4.15	1.44	4.18	26.51	5.11	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.10	-0.16	-0.03	25.82	4.98
11年目	H 59	0.997	0.99833	0.9973	0.1852	16.69	4.14	1.44	4.17	26.44	4.90	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.10	-0.16	-0.03	25.75	4.77
12年目	H 60	0.997	0.99832	0.99729	0.178	16.64	4.13	1.44	4.16	26.37	4.69	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.09	-0.16	-0.03	25.68	4.57
13年目	H 61	0.99699	0.99832	0.99729	0.1712	16.59	4.12	1.44	4.15	26.30	4.50	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.09	-0.16	-0.03	25.61	4.38
14年目	H 62	0.99698	0.99832	0.99728	0.1646	16.54	4.11	1.44	4.14	26.23	4.32	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.09	-0.16	-0.03	25.54	4.20
15年目	H 63	0.99697	0.99831	0.99727	0.1583	16.49	4.10	1.44	4.13	26.16	4.14	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.08	-0.16	-0.03	25.47	4.03
16年目	H 64	0.99696	0.99831	0.99726	0.1522	16.44	4.09	1.44	4.12	26.09	3.97	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.08	-0.16	-0.02	25.40	3.87
17年目	H 65	0.99695	0.99831	0.99726	0.1463	16.39	4.08	1.44	4.11	26.02	3.81	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.08	-0.16	-0.02	25.33	3.71
18年目	H 66	0.99694	0.99831	0.99725	0.1407	16.34	4.07	1.44	4.10	25.95	3.65	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.07	-0.16	-0.02	25.26	3.56
19年目	H 67	0.99693	0.9983	0.99724	0.1353	16.29	4.06	1.44	4.09	25.88	3.50	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.07	-0.16	-0.02	25.19	3.41
20年目	H 68	0.99692	0.9983	0.99723	0.1301	16.24	4.05	1.44	4.08	25.81	3.36	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.07	-0.16	-0.02	25.12	3.27
21年目	H 69	0.99691	0.9983	0.99723	0.1251	16.19	4.04	1.44	4.07	25.74	3.22	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.07	-0.16	-0.02	25.05	3.13
22年目	H 70	0.9969	0.99829	0.99722	0.1203	16.14	4.03	1.44	4.06	25.67	3.09	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.06	-0.16	-0.02	24.98	3.01
23年目	H 71	0.99689	0.99829	0.99721	0.1157	16.09	4.02	1.44	4.05	25.60	2.96	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.06	-0.16	-0.02	24.91	2.88
24年目	H 72	0.99688	0.99829	0.9972	0.1112	16.04	4.01	1.44	4.04	25.53	2.84	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.06	-0.16	-0.02	24.84	2.76
25年目	H 73	0.99687	0.99829	0.9972	0.1069	15.99	4.00	1.44	4.03	25.46	2.72	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.06	-0.16	-0.02	24.77	2.64
26年目	H 74	0.99686	0.99828	0.99719	0.1028	15.94	3.99	1.44	4.02	25.39	2.61	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.05	-0.16	-0.02	24.70	2.54
27年目	H 75	0.99685	0.99828	0.99718	0.0989	15.89	3.98	1.44	4.01	25.32	2.50	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.05	-0.16	-0.02	24.63	2.43
28年目	H 76	0.99684	0.99828	0.99717	0.0951	15.84	3.97	1.44	4.00	25.25	2.40	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.05	-0.16	-0.02	24.56	2.33
29年目	H 77	0.99683	0.99827	0.99716	0.0914	15.79	3.96	1.44	3.99	25.18	2.30	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.05	-0.16	-0.01	24.49	2.24
30年目	H 78	0.99682	0.99827	0.99716	0.0879	15.74	3.95	1.44	3.98	25.11	2.21	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.05	-0.16	-0.01	24.42	2.15
31年目	H 79	0.99681	0.99827	0.99715	0.0845	15.69	3.94	1.44	3.97	25.04	2.12	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.04	-0.16	-0.01	24.35	2.07
32年目	H 80	0.9968	0.99826	0.99714	0.0813	15.64	3.93	1.44	3.96	24.97	2.03	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.04	-0.16	-0.01	24.28	1.98
33年目	H 81	0.99679	0.99826	0.99713	0.0781	15.59	3.92	1.44	3.95	24.90	1.94	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.04	-0.16	-0.01	24.21	1.89
34年目	H 82	0.99678	0.99826	0.99712	0.0751	15.54	3.91	1.44	3.94	24.83	1.86	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.04	-0.16	-0.01	24.14	1.81
35年目	H 83	0.99677	0.99826	0.99711	0.0722	15.49	3.90	1.44	3.93	24.76	1.79	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.04	-0.16	-0.01	24.07	1.74
36年目	H 84	0.99676	0.99825	0.99711	0.0695	15.44	3.89	1.44	3.92	24.69	1.72	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.04	-0.16	-0.01	24.00	1.67
37年目	H 85	0.99675	0.99825	0.9971	0.0668	15.39	3.88	1.44	3.91	24.62	1.64	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.04	-0.16	-0.01	23.93	1.59
38年目	H 86	0.99674	0.99825	0.99709	0.0642	15.34	3.87	1.44	3.90	24.55	1.58	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.03	-0.16	-0.01	23.86	1.54
39年目	H 87	0.99673	0.99824	0.99708	0.0617	15.29	3.86	1.44	3.89	24.48	1.51	-0.06	-0.02	-0.08	-0.37	-0.53	-0.03	-0.16	-0.01	23.79	1.47
合計						650.40	162.20	57.70	163.50	1,033.80	153.72	-2.40	-0.80	-3.20	-14.80	-21.20	-3.09	-6.40	-0.93	1,006.20	149.70

費用便益分析の結果（代替整備）

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B Pの別
一般道道	富良野上川線	L = 12.8 km	一次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
70 ~ 410	1	北海道開発局

費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計 (残事業分)	15億円	5億円	20億円
基準年における 現在価値(C) (残事業)	14億円	2億円	16億円

便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成16年度			
供 用 年	平成20年度			
単年便益 (初年便益)	1億円	0億円	0億円	1億円
基準年における 現在価値(B) (残事業分)	20億円	-1億円	0億円	20億円

結 果

費用便益比(残事業)	1.2
------------	-----

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名：一般道道富良野上川線（見直し継続残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 12.8km	交通量	[台/日]	0	300	
	走行時間	[分]	0	27	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	2.04	
②主な周辺道路	道)旭川 旭岳温泉 線 : 13.9km	交通量	[台/日]	5,100	4,800
		走行時間	[分]	21	20
		走行時間費用	[億円/年]	29.89	27.56
	道)松山 美瑛線 : 12.6km	交通量	[台/日]	2,400	2,300
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	10.04	9.87
	道)上宇 莫別美瑛 停車場線 : 12.5km	交通量	[台/日]	1,100	1,100
		走行時間	[分]	17	16
		走行時間費用	[億円/年]	5.06	4.80
	道)瑞穂 東川線 : 2.8km	交通量	[台/日]	2,500	2,400
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	2.96	2.87
③その他道路合計 : 1,587.6km	走行時間費用	[億円/年]	2,506.07	2,505.73	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計：1,642.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,554.02	2,552.87	1.15

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

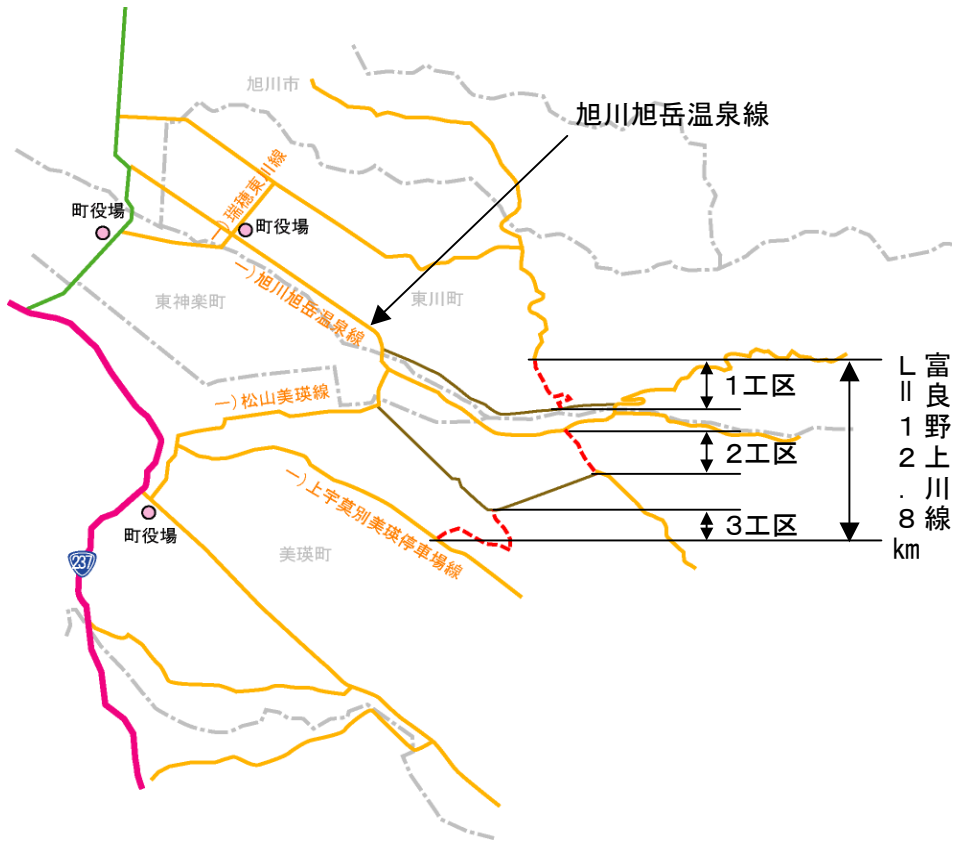
※ 3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：一般道道富良野上川線（見直し継続残事業）

（推計時点 H42年）

【 図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



費用便益分析の条件(代替整備)

事業名: 富良野上川線

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成16年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の場合	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載 交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

費用の現在価値算定表(代替整備)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般道道 富良野上川線

採用単価の根拠 実績値		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.01	12.8	0.13

年次	年度	割戻率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-3年目	H 17	0.9615	0.90	0.87	0.00	0.00
-2年目	H 18	0.9246	7.00	6.47	0.00	0.00
-1年目	H 19	0.8890	7.50	6.67	0.00	0.00
供用開始年次	H 20	0.8548	0.00	0.00	0.12	0.10
1年目	H 21	0.8219	0.00	0.00	0.12	0.10
2年目	H 22	0.7903	0.00	0.00	0.12	0.09
3年目	H 23	0.7599	0.00	0.00	0.12	0.09
4年目	H 24	0.7307	0.00	0.00	0.12	0.09
5年目	H 25	0.7026	0.00	0.00	0.12	0.08
6年目	H 26	0.6756	0.00	0.00	0.12	0.08
7年目	H 27	0.6496	0.00	0.00	0.12	0.08
8年目	H 28	0.6246	0.00	0.00	0.12	0.07
9年目	H 29	0.6006	0.00	0.00	0.12	0.07
10年目	H 30	0.5775	0.00	0.00	0.12	0.07
11年目	H 31	0.5553	0.00	0.00	0.12	0.07
12年目	H 32	0.5339	0.00	0.00	0.12	0.06
13年目	H 33	0.5134	0.00	0.00	0.12	0.06
14年目	H 34	0.4936	0.00	0.00	0.12	0.06
15年目	H 35	0.4746	0.00	0.00	0.12	0.06
16年目	H 36	0.4564	0.00	0.00	0.12	0.05
17年目	H 37	0.4388	0.00	0.00	0.12	0.05
18年目	H 38	0.4220	0.00	0.00	0.12	0.05
19年目	H 39	0.4057	0.00	0.00	0.12	0.05
20年目	H 40	0.3901	0.00	0.00	0.12	0.05
21年目	H 41	0.3751	0.00	0.00	0.12	0.05
22年目	H 42	0.3607	0.00	0.00	0.12	0.04
23年目	H 43	0.3468	0.00	0.00	0.12	0.04
24年目	H 44	0.3335	0.00	0.00	0.12	0.04
25年目	H 45	0.3207	0.00	0.00	0.12	0.04
26年目	H 46	0.3083	0.00	0.00	0.12	0.04
27年目	H 47	0.2965	0.00	0.00	0.12	0.04
28年目	H 48	0.2851	0.00	0.00	0.12	0.03
29年目	H 49	0.2741	0.00	0.00	0.12	0.03
30年目	H 50	0.2636	0.00	0.00	0.12	0.03
31年目	H 51	0.2534	0.00	0.00	0.12	0.03
32年目	H 52	0.2437	0.00	0.00	0.12	0.03
33年目	H 53	0.2343	0.00	0.00	0.12	0.03
34年目	H 54	0.2253	0.00	0.00	0.12	0.03
35年目	H 55	0.2166	0.00	0.00	0.12	0.03
36年目	H 56	0.2083	0.00	0.00	0.12	0.02
37年目	H 57	0.2003	0.00	0.00	0.12	0.02
38年目	H 58	0.1926	0.00	0.00	0.12	0.02
39年目	H 59	0.1852	0.00	0.00	0.12	0.02
合計			15.40	14.01	4.80	2.09
単純事業費計			15.40		4.80	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

走行時間短縮便益の現在価値算定表(代替整備)

箇所名:一般道道 富良野上川線

年次	年度 (基準年) H16	総走行台キロの年次別伸び率 (北海道ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)					事故損出費用(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 20	1.01120	0.99615	1.00723	0.8548	0.66	0.16	0.04	0.27	1.13	0.97	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.03	-0.01	-0.01	1.09	0.93
1年目	H 21	1.01108	0.99613	1.00718	0.8219	0.67	0.16	0.04	0.27	1.14	0.94	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.10	0.91
2年目	H 22	1.01096	0.99612	1.00712	0.7903	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.91	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.88
3年目	H 23	1.00713	0.99736	1.00464	0.7599	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.87	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.84
4年目	H 24	1.00708	0.99735	1.00461	0.7307	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.84	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.81
5年目	H 25	1.00703	0.99734	1.00459	0.7026	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.81	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.78
6年目	H 26	1.00698	0.99733	1.00457	0.6756	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.78	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.75
7年目	H 27	1.00693	0.99733	1.00455	0.6496	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.75	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.72
8年目	H 28	1.00689	0.99732	1.00453	0.6246	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.72	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.69
9年目	H 29	1.00684	0.99731	1.00451	0.6006	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.69	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.66
10年目	H 30	1.00679	0.99731	1.00449	0.5775	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.66	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.63
11年目	H 31	1.00675	0.99730	1.00447	0.5553	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.64	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.61
12年目	H 32	1.00670	0.99729	1.00445	0.5339	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.61	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.58
13年目	H 33	0.99969	0.99414	0.99837	0.5134	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.59	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.02	-0.01	-0.01	1.11	0.56
14年目	H 34	0.99969	0.99410	0.99837	0.4936	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.57	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.56
15年目	H 35	0.99969	0.99407	0.99837	0.4746	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.55	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.54
16年目	H 36	0.99969	0.99403	0.99837	0.4564	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.52	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.51
17年目	H 37	0.99969	0.99400	0.99836	0.4388	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.50	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.49
18年目	H 38	0.99969	0.99396	0.99836	0.4220	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.49	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.48
19年目	H 39	0.99969	0.99392	0.99836	0.4057	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.47	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.46
20年目	H 40	0.99969	0.99389	0.99835	0.3901	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.45	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.44
21年目	H 41	0.99969	0.99385	0.99835	0.3751	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.43	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.42
22年目	H 42	0.99969	0.99381	0.99835	0.3607	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.41	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.40
23年目	H 43	0.99801	0.99542	0.99743	0.3468	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.40	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.39
24年目	H 44	0.99801	0.99540	0.99742	0.3335	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.38	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.37
25年目	H 45	0.99801	0.99538	0.99741	0.3207	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.37	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.36
26年目	H 46	0.99800	0.99536	0.99741	0.3083	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.35	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.34
27年目	H 47	0.99800	0.99534	0.99740	0.2965	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.34	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.33
28年目	H 48	0.99799	0.99531	0.99739	0.2851	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.33	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.32
29年目	H 49	0.99799	0.99529	0.99738	0.2741	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.32	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.31
30年目	H 50	0.99799	0.99527	0.99738	0.2636	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.30	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.29
31年目	H 51	0.99798	0.99525	0.99737	0.2534	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.29	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.28
32年目	H 52	0.99798	0.99522	0.99736	0.2437	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.28	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.27
33年目	H 53	0.99706	0.99834	0.99734	0.2343	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.27	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.26
34年目	H 54	0.99705	0.99834	0.99734	0.2253	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.26	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.25
35年目	H 55	0.99704	0.99834	0.99733	0.2166	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.25	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.24
36年目	H 56	0.99703	0.99833	0.99732	0.2083	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.24	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.23
37年目	H 57	0.99702	0.99833	0.99732	0.2003	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.23	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.22
38年目	H 58	0.99701	0.99833	0.99731	0.1926	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.22	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.21
39年目	H 59	0.99700	0.99833	0.99730	0.1852	0.68	0.16	0.04	0.27	1.15	0.21	-0.03	-0.01	0.00	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	0.00	1.11	0.20
合計						27.17	6.40	1.60	10.80	45.97	20.21	-1.20	-0.40	0.00	0.40	-1.20	-0.55	-0.40	-0.14	44.37	19.52